

幼 兒 教 育

第 二 十 一 卷 第 六 號

大 正 十 六 年 十 月 五 日 發 行

目 次

幼兒教育と幼兒保護事業	小澤 一
彼等に勝利を與へよ	河井道子
謠曲の仕舞を遊戯させし形	大和田 りよう
二十餘年の經驗から	千葉 秀子
子供を大切にせよ	塚本はま子
奥國兒童保護事業の情況	甘粕なべ子
讀者の聲	地方の一會員
岸和田の兒童保護宣傳	佐藤滿壽
都鄙兒童自由畫展覽會を見て	一 會 員

會 報

總會、講習會、神戸兒童學會、神戸保育會、第三回全國幼稚園關係者大會、獨逸兒童救濟寄附金報告、等

日 本 幼 稚 園 協 會

會告

○會費御拂ひ込みの節は御名前が初め御入會の時の御名前と御同一になし下され度く、例之ば初め幼稚園名にて御入會、後、個人の御名前にて會費御拂込み等のことなき様必ず願上候整理上甚だ煩雜致し候につき右特に御注意願候

○會費未納は會計整理上甚だ困難致候に付確實に御納付下され度向後萬一御不納久しきに互り候場合は乍遺憾雜誌發送を停止可致候間左様御含み置願候

○會員諸君にて御轉居等の節は至急御一報願上候

○萬一本誌不著等のこと有之候折は直に御一報煩し度候

本誌定價

一冊(郵稅共)金貳拾五錢 六冊 前金壹圓五拾錢
十二冊 前金 參 圓 (郵券代用壹割増)

購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七二六六番)

大正十年六月十二日印刷

大正十年六月十五日發行

東京市下谷區花園町一番地
編輯兼發行者 黒 瀬 覽

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷者 柴 山 則 常

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷所 合發 杏 林 舍

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

發行所 日本幼稚園協會

日本幼稚園協會總會

一、時 日 六月十八日(土曜日)午後正一時開會

一、場 所 東京女子高等師範學校講堂

一、報 告

一、講 演 童話選擇の諸原則 東京帝國大學 講師文學士 松 村 武 雄君

一、餘 興 會話唱歌

一、茶菓懇談

多數お誘ひ合せ御出席下さい。

大正十年六月

日本幼稚園協會

|| 裏面御注意 ||

日本幼稚園協會夏季講習會

一、時 日 大正十年七月二十五日より二十九日迄五日間

(毎日午後一時より三時)

一、場 所 東京女子高等師範學校附屬幼稚園

一、講習課目 幼稚園に於ける唱歌 東京音樂學校 助教 弘田龍太郎君

(内容の詳細は本誌會報欄を御覽下さい)

一、會 費 金 貳 圓 (本會會員は特に二割引のこと)開會當日御持參下さい。

一、申込期日 大正十年七月二十日限

一、申込場所

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日 本 幼 稚 園 協 會

文學士

木村久一著

◇普及版—總振假名附◇

改訂 增補 早教育と天才

早教育は英才を造るとは最近心理學の教ふるところ、本書は早教育の古今の實例と最新の學說とを方法とを平明懇切に詳述せるもの、正に英才教育の指南書なり、今全卷の版を改め、附録を追補し、裝幀を新にして、普及版を刊行す。謹んで大方志人の清鑑を待つ。

愈發賣

内容

- ◆緒言
- ◆早教育は英才を造る
- ◆并ツテの教育
- ◆トムソンの兄弟 ミル及
- ◆ビゲーテの教育
- ◆天才は如何にして生ずるか
- ◆サイデイス博士の教育説

- ◆パール博士の教育法
- ◆結語
- ◆早教育の精神
- ◆早教育に對する誤解
- ◆早教育の主張
- ◆學校の成績を悪くする一
- ◆二の原因

- ◆四六版極美裝
- ◆全文總フリガナ附
- ◆定價二圓九十錢
- ◆送料 十二錢
- ◆全圖書籍店取次

東大 京阪 京三 橋休 橋南 町南 大 行發閣鏡大 振替 東大 京阪 三三 六一 八八 番 七二 一五 五番

本誌は最も平易な、最も教育的な子供繪雜誌たるべく苦心して居ります

コドモ

良友

童話

本誌はコドモの兄様姉様に當り、小學生の讀物として最も適當な雜誌です

近來子供雜誌や繪本類が非常に多くなつて、既に二三十種に達してゐる。

世の父兄諸氏は、この多くの同種中、はたして何れを子弟の爲に選べるゝであらうか。

單に玩具と見做して、その選擇を慢然兒童の取捨に任して置いてよいであらうか。

東京市小石川區 東林町十五番七地 發行所 **ドコモ社** 電話 六二九二 八二九二

幼 兒 教 育

第二十一卷
第六號

大正十年六月十五日發行

幼兒教育と幼兒保護事業

○教育と社會事業

教育と社會事業とは文明殊に理想的建設事業の根柢たる二大事業であつて兩者は最も密接の關係がある。是等の何れかに従事しその根本に向つて考究するものは必ず此の理を深く感づることと思ふ。近代教育の創始者ベスタロッチーは自ら孤兒の教育が創め世の弱者保護の始めに叫び、教育が社會救済の根本なることを説いたのは實に深い意味がある。其他二つの事業に關する實驗と歴史の發展とは兩者の關係が如何に密接であるかといふこと及び益々その協力を要することを教ふることと思ふ。實に教化の伴はぬ社會事業は眞の効果を有し得ない。それと共に今後の教育事業は必ず社會的活動と協力せなければその大なる成績を現はすことは出来ないと思ふ。是

内務省囑託 小 澤 一

が今や單に理論の問題でなく、一部教育家の實際活動に顯はれんとして來たことは實に欣ばしい事である。

○兒童保護事業

近代社會事業に於て最も重きを置し處は親より兒童へ移つた。極貧に陥つた後の救助にあらずして事前の豫防これが近代社會事業の旗幟であり、姑息的慈善でなく根本的社會改良といふことが現代の要求である。是が爲め社會事業が兒童より出達するを最良となし、兒童の爲めに非常の力を集中することとなつたのである。此の趨勢は益々社會事業と教育を根柢的に結合するものと思ふ。兒童保護事業の範圍は極めて廣汎であつて孤兒、貧兒、盲啞其他の不具、低能兒、白癡、不良少年、勞働兒童等に對する各種

の保護事業に限らず、普通家庭の兒童に對しても廣く社會的に保護の攻究と施設を要するものが多いのである。兒童保護事業はまたその本に溯つて學齡後の兒童より學齡兒童、幼兒、乳兒、胎兒と根本的に保護の途を講ずるのである。斯る兒童保護問題の發達は一面に兒童に關する社會的觀察、出生死亡等の統計心身發育の研究其他種々なる科學的研究に負ふ處極めて大である。

○幼兒教育と幼兒保護事業

幼兒教育も研究の範圍は極めて廣く、幼稚園教育を中心として歐米では理論的に亦實際的に盛んな發達をなして居ることは茲に言ふ迄もない。次に幼兒保護事業とは如何なる範圍を指すべきかと言へば是亦幾多の歴史的發達をなし、殊に今後尙ほ發展をなさんとして居る。古來棄兒、孤兒其他貧兒の教育即ち育兒院の事業が行はれ、近時歐米に於ては益々完備の域に進んで居る。中にも幼兒の教育は發育保全の上に特殊の攻究を要し、家庭委託制度が獎勵されて居る。次に下級幼兒の保護事業として特殊の發達をなし來つたものは晝間保育事業即ち保育所の仕事で

ある。是は母親が家計上の必要から工場其他外に出で、仕事に従事し或は家庭に於て内職をなさねばならぬものゝ兒女を晝間預つて保育するの目的で作られ、歐米の都市、工場地等に於ては非常に數多く設けられて居る。是には乳兒保育所と幼兒保育所とあるが、保育所はまた兒女の養育を通じ家庭改良の上に貴き役目をなして居る。一時世間に喧傳されたモンテッソーリー女史の所謂『兒童の家』はローマの貸長屋の幼兒を世話する爲めに或る會社の建設したもので、女史はその顧問となり熱心に幼兒の教育と家庭の改良に従事し大なる効果を顯はした。我國の保育所は始めて設けられて以來未だ二十年に至らずその稍々盛んになり始めたのは八九年來の事である。現今少數の完備したものも出來始めたが一般から言ふと未だ不完全と言はねばならぬ。下級の幼兒に對する保護の問題としては家庭の保護改良や貧困なる母の扶助といふことが殊に主要である。幼兒の衛生醫療の爲めに巡回看護婦、兒童病院等が歐米では著しく發達し來つた。一般幼兒の爲めに健康相談所等も盛んに普及し來り、我國でも最近東京大阪等に設立され始めた。その外育兒衛生等の保護に關する知識

の普及、榮養保健に關すること等何れも社會的に攻究し施設すべきものである。以上に言ふた幼稚園、保育所、其他幼兒の教育保護の事業を普及し凡ゆる階級に通じ凡ての幼兒の發育を保全することは實に社會國家の基礎たる事業である。

○社會協同の精神

以上は社會事業と教育とが最も密接の關係ありといふ問題及幼兒保護事業の如何なるものなるかを一言したのに過ぎないが、更に幼稚園の教育や保育所の仕事に従事して居る方々に取つて是等の問題が實際如何なる意味を有するかをもう少し考えて見度い。我國に於ても近時社會事業が段々吾人の注意を惹いて來、また漸次發達の機運になつて來たがその精神的發達に於ては大に攻究すべき問題があると思ふ。第一斯業が深い宗教的根柢から發するに至らねばならぬ事は言ふ迄もないが、是と共に吾人が現に切實に感ずる問題は社會事業が眞に社會協同の精神的根柢を得なければならぬ事である。吾人が相互に人生の様々な不幸を救ひ、貧困を豫防し更に社會的福祉を増進して行くには各自の深い精神的自覺と同

情協同の心が原動力である。斯る精神が源となつて社會の各方面各階級が直接間接に協力して行くのではなくては今後の社會を救ふべき事業とはなり得ない。故に社會事業は今後は單に社會事業家だけの事業ではない。然らば如何にして眞に社會協同の精神が養はれ、是が社會事業の上に發現し得べきかは最も深い問題であつて所謂一片の協同心では駄目である。是が爲めには教育家と社會事業家との同情協力は最も主要なるものゝ一つである。是は必ずしも直接事業に關與する否と許りでなく、第一には社會的精神の涵養が最も緊要であるからである。而して斯る兩者の精神的協同が社會事業の爲め許りでなく教育そのものに取つても甚だ大切であると思ふ。今後の事業は教育であれ社會事業であれ人生社會に對することは凡て協同して行かねばならぬ。

○幼兒保護事業の研究

幼稚園と保育所とは今後相共に發達し且つ兩者が大に接近し、保育所はその設備を整へ位置を高めて行かねばならぬ。兩者の仕事には大に趣の異なる處もあるが幼兒教育者たる保姆その人の位置や修養に

於ては全く同一に向上すべきものと思ふ。斯様な次第であるから今後熱心なる保育事業の従事者が多く出でねばならぬ。また普通の幼児教育に従事して居る方々でも幼児保護事業に對し理解と興味と同情を持つことが幼児に對する社會の協同的保護の上に極めて大切であつて是が亦普通幼児の教育上參考となること甚だ多いのである。是が幼児保護事業研究の必要なる所以である。是と同時に社會事業に従事して居る者が教育上の根本的な研究や思考力を必要とする事は大なるものと信ずる。幼児教育に従事して居る人の幼児保護事業に關して有することの望ましい知識といふてもその人が直接保育所其他幼児に對する社會事業に従事するのでなくば勿論幼児保護問題に對する基礎的の知識と實地に關する多少の觀察だけでもよい。そうして幼児保護に關する理解と同情とを持つに至らば大に意味ある事と思ふ。加之、幼児の教育と保護事業とは協同の研究をなすべきもの多く。今後はを盛んにして行かねばならぬ。

○社會の建設

上に述べた教育、社會事業其他社會の各方面の協

力の必要といふことは語を換へて言へば、現時の動搖せる時代思潮に對する建設運動といふ上からも重大な意味がある。現今の社會や思想の動搖して居る状態に關しては深き考案を要するのであるが、是に對する建設の道は宗教的の信念の上から政治的經濟教育社會事業等の従事者が各々自己の立場から大なる者も小なる者も實地の建設に關與して行く事が最も大切で、如何に小さき仕事でも精神を込めたものが一つ／＼建設の礎となると思ふ。殊に教育や社會事業は此の建設の礎である。現代社會思想の基調は一言にして言へば個人主義に基く自己の主張であつて是に一面の理由は認めらるゝけれど人生はどうしても根柢に於て絶對の慈愛と平和がなくてはならず、斯る根柢に立つて眞の建設をなすものは教育や社會事業の従事者である。

○幼稚園及保育所の發達

兒童の教育上からも兒童保護事業の上からも幼稚園の普及と共に保育事業の發達が最も主要である。保育所は今後都市や工場地にその數を大に増加すると共にその完備整頓に大に力を用ひねばならぬ。保

育事業が更に主要な社會的意義のあることは細民地域、勞働者居住地等の改善の爲め隣保事業の中心として保育所が設置されることが多い。隣保事業は歐米に於て發達し、篤志家が或る地域に社會の改善、教化の中心として俱樂部、學校、保育所、圖書館、人事相談所、運動娛樂場等の施設をなすのであるが保育所は斯る隣保改善事業の中心として極めて主要なものである。斯る隣保事業が我國に於ても漸次興らんとし、最近大阪、横濱、東京等には此のセトルメント、ハウスを市民館、勞働會館等と名け大なる施設が或は既に創設され又は近く設立されんとして居る。上述の如き保育事業が社會の改良に資する効果は必ず大なるものあるべく、幼稚園教育と相俟つて幼児の教養保護の中心たるべきである。

託兒保育規定

六月十日より實施

東京市社會局に於ては左の通り本市託兒保育規程を決定大正十年六月十日より之を施行する事となり。

東京市託兒保育規程

第一條 本場に於て受託すべき託兒は市内居住者の學齡未滿の幼児及生後六月以上の乳兒とす

第二條 幼兒は一般幼稚園の課程に準じ之を訓育す其題目左の如し

一、遊戲、二、唱歌、三、談話、四、手技

第三條 受託時間及休日左の如し

一、受託時間

自四月一日至十月三十一日自午前五時午後六時

自十一月一日至三月三十一日自午前六時午後六時

二、休日

一月一日、二日、三日及各一日、十五日

前項の受託時間及休日は一般の狀況に依り適宜變更する事あるべし

第四條 依託者よりは託兒の保育料を徵收す但し事情に依り之を減免する事を得

第五條 兒童を依託せんとする人は其住所職業姓名及託兒の姓名年齢其他必要の事項を申出で許可を受けらるべし

第六條 依託者託兒の委託を止めんとする時は其旨申出でらるべし

第七條 左の場合には受託を拒絶する事あるべし

一、託兒數定員に達したる時

二、疾病ありと認めたる時

三、他の幼兒に惡影響を及ぼす虞れる時

四、保護者が職業に不熱心なる時

五、保護者が本場規程を守らざる時

第六條 託兒及保護者の住居其他に異動を生じたる時は速に其旨を申出でらるべし

第九條 毎月一回保護者會を開き又隨時保護者の相談に應ず

彼等に勝利を與へよ

講演梗概

日本基督教女子青年會幹事

河井道子

私の題は『彼等に勝利を與へよ』と言ふので此の勝利を與へよと言ふ事は彼等に何でも勝つ事利になる事を與へて貰ひ度いと思ふのであります。何事に限らず勝つと言ふ事は嬉しい、敗けると言ふ事は口惜しい事でありませう。喧嘩をしても走り競べをしても勝負事に負けるとよく物を投げたり、ほうりつけたりするのであります。私は其んな意味での勝利ではないのであります。西洋では一般に子供と言ふ事に付いて早くから研究して居たのであります。學者も教育者も家庭に於ても如何にして子供を育てたら善いかと言ふ事には非常に熱心であるのであります。私の知つて居るアメリカの或家のお話であります。其の家には六歳になる男子が居ました。日頃から大層可愛がつてゐました處が御承知の通り歐羅巴に於きましては古今に無いと言ふ大戦争が始りました。其結果澤山の人が戦死して、お父さんを亡したり。お母さんをなくした孤兒が澤山に居ます。

是等の兒童は育てる人もなく其日々々の食物や着物も無いのであります。亞米利加では是等の人を救ける爲にお金を送つて上げるのであります。そこで或時其母が子供に向つて佛蘭西、英國、白耳義の方では戦争の爲に澤山のお父さんやお母さんを亡つて養ふ人が無いのであると委しく其有様を説いて聞かせ終りに『斯う言ふ有様だから私の家でもお前の兄弟が二三人あつたと思つて二三人程貰ふと思ふが如何だらう。然し貰ふと言つてもお金を儉約して送つて遣るのだから今日からは儉約しなければなりません』と言つて聞かしたのであります。其子供は大層アイスクリームが好きでありました。或時母親は子供を連れて日本で言つたら三越を見た様な家に買物に參りました。大層熱いので子供に一つアイスクリームを與へて遣り度い必度子供が喜ぶに異ひないと思つて子供に向つて『アイスクリームを一つ買つて上げ様ね』と言ひました。處が子供が『お母さん、

其のアイスクリームのお値段はいくらです』と言ふのです。日頃よりも態度の異ふのを不思議に思つてゐましたが『其價は拾五錢です』と言つて聞かしました。子供は直ちに『お母さん大層高いのねー十五錢あれば佛蘭西の子供を一度貰つて養ふことが出来るではありませんか。だから私はアイスクリームは要りません其のお金を向ふに送つてやりませう』と申しました。母は、感心してしまつたのであります。

是は母が前に申しました言をよく聞いて自分の心から出た貴い犠牲の精神であります。自分の慾望、肉慾に打勝ちて人の爲に盡すと言ふ貴い精神であります。斯の精神は成長の後には社會の爲、人の爲に自分を犠牲にして盡すと言ふ大精神に外なりません。今一つのお話はやはり之も西洋のお話であります。其の子は母を食べると必ずはしかの様になつて體中に吹出物が出るので、お医者様に見て貰ふと、此子の體には母が合はないのだから母を食べさす事はならん。と申されました。所が生憎其家には澤山の母が前の畑にあるのです。でお母さんはよく母を食べてならない事を言ひきかせて置いたのでありま

す。或日の事、二階に居た母の所へ子供が飛び上つて蒼い顔してブル／＼振へて居るのです。お母さんは如何したのだらうと思つて、其の子に問ひました。處が、子供が言ひます様には、今下に大きな母が五つ程ありました。と言ふのです。其子はキット、ア一食べ度い欲しいと思つたに異いぬ。然し之れを食べてはいけぬと思つた時には、どんなに辛かつた苦しかつた事でせう。其れをおさへて二階に上つて來たのですもの、母親は子供を抱いて泣きました。之が其子供の大勝利なのであります。自分の慾を制して、之を打破つたと言ふ事は、如何に偉い事です。此の精神がやがて大人になつた時に、自己の慾望を抑へる事の出来る精神であります。下度酒の好きな人が、酒屋の前を通つてブン／＼匂ふ酒の香を餘所に見て通り過ぎると同じであります。大人でも之の丈の自我に勝つと言ふ事は、容易な事ではありません。次には大分大きくなつた六つ位の子供でありました。其家は甚だ教育に熱心な家でありました。凡て西洋では金の使用なり、金の貯蓄と言ふ事に付いても、始終教へて居るのであります。例へば子供に庭を掃かして。其働きに對して五錢やるとか又一

度のお使に對して幾らやるか言ふ風にして、貯蓄法を教へ、又之を使ふにも教育するのであります。其家でも色々の子供の勞力に對して、一定の金をやつて貯金させて置き、之を出して使ふ時には、必ず十分の一を慈善事業に出すと云ふ事に定めてあります。之は一吋小さい様ですが、拾錢に對しては壹錢、壹圓に對しては拾錢、百圓に對しては拾圓、千圓に對しては百圓、拾萬圓に對しては壹萬圓と言ふ風に決して小さい金ではありません。であるから其子が貯金の十分の一を慈善事業に出すと云ふは、随分辛い事でありませぬ。之をきめた處の母親も教育に熱心な偉い人でありませぬ、處が或時活動寫眞が參りました。其寫眞は印度のライオンの格闘や、其他面白い寫眞でありました。そこで之をきいた子供は直ちに家に歸つて、「お母さん、活動寫眞が來ました、それはく面白く爲になる寫眞ですが見に行つても宜しいですか。」と問ひました。母親はしばらく考へて居ましたが、『それは宜しいがあなた貯金はあるでせうね、』と問ひました。子供は貯金を調べて見ると丁度拾錢あるので、早速母に大丈夫あります。と斯う答へて喜んで居るのでした、母は尙『お前が一人で

譯にはならぬから他の誰かゞ從いて行かなければならぬ、そこで何時ものお約束の十分の一は出さなければなりませんよ。』と言はれて子供は暫く茫然として蒼い顔をしました。十分の一出すと活動寫眞に行く事が出來ない。困つたと思つて母親に又歎願したのでありますが、母は『どうも之丈は許す事が出來ませぬ、此の事は神様に誓つてあるのだから、若し之を許せば神様に嘘をつく事になるのですからどうもならない。』と申した。處が今まで快活であつた子供は、忽ち憂鬱になつて其の夜は寢てもウン／＼唸つて居るのです。是を見た母親は、子供よりも猶苦しかつたのです。けれ共此時こそ子供が自分の慾に打勝つと言ふ事を教へなければと思つて、苦しい胸を抑へて子供の活動寫眞に行く事を許しませんでした。其後一日二日と苦しい日を無理に抑へて過しました。三日を経て或日の事子供が『お母さん、私はもう活動寫眞なんか行きませぬ。活動寫眞なんか何時でも見られるのですね、又此後にも來るのですつて』と言ひました。そして『私は十分の一ではない貯金の全部をあげて慈善事業に寄附ませう。』と言ひました。此時は嬉しさの餘り、其子供を抱き

上げて、『眞實にお前は偉い子供だよ、百萬圓の金を得たよりか、幾許嬉しいか分らない』と言つて嬉し泣きに泣きました。其家には何時でも世界地圖を家に貼つて居まして此處がエデプトだ、此處が支那だと言つて聞かして斯う言い國には澤山の困つた子供が居るのだ。で此國の人達へ送つてやりませう、と此處に外國の爲に使つたのであります。中には若い人達で酒を呑んだり、遊びに行つたり、芝居に行つたり、斯うした遊びに澤山の金を使ふのであります。然るに僅か六つか七つの兒童が教育的活動をさへ見に行かず、遊びにも行かずに人の爲に犠牲になると言ふ事は、慥かに勝利であります。大勝利であります。斯うした話は澤山あつてとても盡きません。今日の新聞を見ますと、立派な人が金を取つたとか、まいないをしたとか、或は殺したとか殺されたとか色々の事が澤山出て居ます。之は一體どうしたのでせうか。大人になつたからしたのでありませうか、學校を卒業して一人前になつて後に斯うした心が起つたのでせうか。いゝえそうではありません、子供の時に既に／＼親から教へられたのであります。子供が好きと言へば直ちに之を與へ、買ひ度いと言へ

ば買つてやり、すべて子供のしたい事、食べ度い事を親から我儘に與へられて居たのです。でありますから、子供の時から少しも自制心と云ふものが無いのであります。之は上流下流中流なべて皆斯うした、教育を行つて來たのであります。此爲に子供が大人になつた時、自ら慾を制して爲すべき事を爲すと云ふ堅固な心がないのであります。私はキリスト教信者でありますが、キリスト教では子供を大變愛し尊ぶのであります。人間は子供の様にならなければならぬ。子供の様な正直な心を持つて大きくなつても正直な人になり度い、正義であり度いと祈るのであります。そこで大人であつても、軍人であつても、學者になつても何卒眞實の人間になる様にと神様に祈るのであります。であるから大人であるからと言つて、決して自ら誇る様な事はなく、正の爲、義の爲に盡すので、従つて國の爲にもなるのであります。今から三代前の米國の大統領ルーズベルトには子供が六人あつて、其中男が四人、女が二人、是等に與へた手紙を集めた本は有名なものであります。ルーズベルトは自分の子を自分と同様に取扱つて、子供の人格を尊重し、子供に話す時にも、子供に與へる

手紙にも、皆他の大人に與へると同様にして居たのであります。家に居ても學校に行つても、旅行先かも寄越す手紙でも、總べて子供を信じ、子供を尊重して居たのであります。其の中の確か二番目の子であつたと思ひますが、此子供が高等學校から専門學校に入學する時に、父に其の選擇に付いて手紙を寄越しましたルーズベルトは其の手紙を見て、彼に與へた返事に言つてゐますには『あなたの手紙ははつきりして、條理整然として餘程よく理解される様にして書いてありました。が、あなたは何故に此學校を選ばれたのですか、貴方は將來の生活、將來の社會的位置、即ち立身出世するには如何なる方面が最も困難がなくして早道であるかと言ふ事に依つて貴君の將來の方針を定められた様ですが、然し私の考へでは最も難しい最も力のかゝる骨の折れる様な學校を選んで、其の苦しみや、困難を切り抜ける事をなし得ると言ふ事に付いて貴君を私は信じてゐます。斯う言ふ風でなかつたならば成功は難しいと思ひます。斯うした強い精神を貴方が持つて居ると言ふ事を疑ひません。そうして貴方は此の強い精神の下にお國の爲に働く事になると言ふ事をも信じて居ま

す、『斯う言ふ風に子供を責めないで、自分の子で自分と同等にして自分よりもより以上な高尚な品格と、正しい心を持つ様に子供の時からよく教育をすると言ふ事は大切であります。皆さんはまたアブラハム、リンコーンの事をおきゝになつた事があると思ひます。リンコーンの母は始終、リンコーンに教へて『お前は大将とか、偉い者になれとは申しませんが、唯正直な、誠實な人になつて欲しい。』と言つてゐました。であるからリンコーンが成長した後、世界の正義の爲に働く南北戦争だけに矛を取つて起つたのであります。私の所の大家さんに可愛い三つ四つの子供が居ります。よく私の所へ遊びに參りますので、私が之を呼びますと兄の方が、『何だ女の所へ行くものか』と言ひました。すると又其小さい三つ四つの妹が兄の眞似をし、『何だ女の處へ行くものか』と申します。斯う言ふ風に女を侮ると言ふ事は小さい時には意味は分らないのですが、他の大人が妻や女に對して卑むと言ふ者がこの小さい子供に傳つて小さい時から女を卑むと言ふ觀念を教へるのであります。夫が其子の母親を打ち兄が妹の物を破つと言ふ習慣を作るのであります。私は小さい時には、

餘程貧乏な家庭に生れたのでありますが、幸にも前後十年間西洋の方にも行ききました。あちらは田舎にも都にも居ましたが、其の間大人や小供が戸外で小便をして居るのを見た事は、唯の二度しかありません。一度は伊太利の田舎、一度は佛蘭西の町で見たぎりであります。日本では本町筋に大きな男が立ちながら何でもないと言ふ風にして居るのを見るのであります。私は田舎に行つて子供を見ますが、學校で十分の休みの間に行かしめるのに、猶十分、十五分と時間が立つと、お小用に行き度いと言ふのを見ます。之は便所に行つてはならない時と行くべき時と言ふ事を、先一人々々の親が教へて居ないからであります。従つて大人になつてから、之を恥と思はないのです。之は國民道德と大切な關係を持つてゐます又、日本人は間食が多いので便所へも澤山行くのであります。子供が食べ度い時に食べさせ、好きだからと言つて買つてやる事は、大人になつて放蕩な人を作るのであります。すべて自己を制すると言ふ事を教へるのは子供の大勝利であります。一人の善い國民を作るのと、一人の悪い國民を作るのとは、國家に對して大變な相違があります。二三日前に西

洋の或話を聞いたのでありますが、其話に依ると、馬鹿な夫婦が居て其の子孫が培えて、四十八年間に五千人の馬鹿や、悪人を生じたと言ふ事があります。此の五千人の者を監獄に入れて世話をするのは、莫大な金を費すのであります。これも學校とか、其の他社會の爲になるものであれば好いのですが、確でもない五千人の者を世話をする爲には二億圓と言ふものを費すのであります。二億圓と言へば、小さい様ですが、日本の財政が十五億と言ふに比しても大變大きいのであります。故に一人の人が馬鹿であり、一人の子供が悪ければ如何程國家に大なる關係があるかと言ふ事が分ります。で私は國の爲、社會の爲から申しても、子供に勝利を與へてやらなければならぬと思ひます。其れは子供が良かった時にはよくほめてやる事でありませぬ。決してほめると言ふ事はおだてると言ふ事ではありません。例へば子供が御飯をこぼした時に、其のこぼし様が前よりも少なかつた時には、お前は前よりも大層御飯を食べる事が上手になりました。と言つて教へてやるのであります。それを頭から馬鹿だとか、つまらない奴であるとか、言つて叱るのではありません。之は學

校へ子供が行かない時でも同じであります。行つた時には之をほめて之に獎勵を加へてやるのであります。子供に對しては勿論母が大責任を持つものであります。父も亦責任を持たねばなりません、私が知つて居る家に、子供が泣く時に大變大きな喉がはち切れる様な聲を出します、之れは其お父さんが、日頃から言葉が大變荒ぼく、大きな聲で子供や女中を使ふので其れを見ならふのであります。外出の時でも同じであります。夫婦が合はない時は、色々な不都合を生じるのであります。例へば、母が三越に行つた時、お父さんに内密に物を買つてやるから言ふな、とか又、父親が淺草に連れて行つて物を買つてやつて、お母さんには内密だと言ふ様な事をすると、大人になつて遂に金使ひの荒い者を生じるのであります。又此の子供の前で父が母を叱ると言ふ様な事は母親の價値を下げ、母親が父親に色々な物をねだると言ふ事は、子供の教育の爲に決して、善い事ではありません。でありますから、子供の教育は夫婦互ひに理解の下に行はれなければいけません。又、子供はバー、とかバカとかおバケ、とか言ふ言葉をよく使ふものであります。私の知る子供に

オバケコハイ、と言ふ事から暗い部屋であるとか、便所に一人行けないのであります。之は其父母が小さい時に、オバケのおそろしい事を教へた爲に、其れを思ひ出しては行く事が出来ないものであります。兎角無學な親がよくおバケとか、馬鹿とか言ふ事を用ひるのであります。注意しなければなりません。それよりもつと大きく自然に親んで子供を正しい方に導かねばなりません。子供に理由があれば、充分それを聞いてやると言ふ事が必要であります。

米國の大哲人エマーソンは子供を教育するのに、子供の言ふ事を、他から見たら馬鹿の様に眞面目に聞いてやるのであります。そうして子供の人格を尊重するのであります。或友人が、エマーソンに言ふのは『そんなによく子供の言ふ事を聞いてやる必要はありません』と言ひました。ところがエマーソンは『決してそう言ふわけのものではない。子供に對しては充分人格を認めてやらなければならぬ』と言つたのであります。此の事は我々の習ふべき事かどうか子供には勝利ある最後を與へてやり度いものであります。教育の如何に依つては、名譽とか富とか言ふものゝ奴隸にもなり人をだまし、或は放蕩になり、或は吝嗇にもなるのであります。(筆記文責記者)

謠曲の仕舞を遊戯とせし形

京城庚子記念幼稚園

大和田 りょう

こちらは、御承知の通り、冬は、零下何度と申す

寒さでとても運動場には出られませんから、屋内で

出来る運動で何か變つたものをご思ひまして、夫れ

には當地は娛樂の少ない處ですが、謠曲は非常に流

行し、通園幼兒の父か母かの謠はぬお家は稀な程で、

自然幼兒等も耳なれて居るので、こゝに考案致しま

したのが今申上やうといふ遊戯です。

小謠中のむづかしい節の(クリ)や(入)等のすけない

歌詞の平易なるを選び之れに仕舞の形を五つ六つと

り小舞と致しました。

四五年前に考案いたしました、家庭でも、夜分

父君又母君の地で又來客の時など餘興にもなると歡

迎されて居りますが、小舞も仕舞も普通の場合一曲

一人で舞ひますのをかく大勢にて致すのが考案でし

たがつて色々無理な處もありましようかと今式日

の分を左に申上で、皆様にお直しを願ひます次第で

鳥帽子折五月端午

皇帝節天皇

西王母節三月

土車元旦

始めと終りは皆同じであります。各兒扇子を持ち

て(圓形でも出来ませう)。只樂器に合へぬ丈です。今

直線で致しますのを申上ます。

一回二十人位二人づゝ二列となりて、洋琴に合せ

て出て參ります。程よき處にて一列は後に、一列は

前に並びて二側に座します。前の一列シテトナリまひ、

後の一列地となり唱ひます、前後とも扇を改めて下に

置き(膝の前)更に扇子をとり上げ、前の列は構へ、

後の列は謠ふように構へ、前列一句唱ひ、立ち上れ

ば後列其先を唱ひ前列舞始め、終れば更代して後列

前に出て舞ひ始めます。

式の時はお藁や織紙其他にて作りたる冠をかむ

り、西王母や義經になります。

歌詞

一天四海なみを打ち始め給へば國も動かぬあらか

ねの土の車の吾等迄道狭からぬ大君の御影の國なるぞ有難き。

形 前列構へ同時ニ扇

擴げて此一句唱ふ

立ち此一句より以下後列全部唱ふ

前進

一天四海波を

打ち治め給へば 國も動かぬ

あらかねの

右手扇で圓形をかく土の車の

左手で自分一週する

道せばか

らぬ

もとの位置にならる大君の御影の國なるそ

打込下に居るありがたき

西王母

歌詞

三千とせになるてふ桃のことしより。なるてふ桃の今年より花咲く春に逢ふ事も唯是君の四方のめぐみあつき國土の千々の種桃花の色ぞ妙なる。

形 前同様

前列一句唱ふ

立後引謡ひ始なるてふ桃の上にかざす

拍子一つ 今年より

立ち前進

花咲く春に逢ふ事も

廻りて元の位置に歸る

四方のめぐみ

あつき國土の千々の種

桃花の色ぞ妙なる

打込下は居

烏帽子折

歌詞

かやうに祝ひつゝ程なく烏帽子折りたてゝ花やかに三色組の烏帽子懸緒取り出し氣高く結び濟し召されて御覽候へとお髪の上に打ち置き立ち退きて見れば天晴れ御器量やこれを弓矢の大將と申すとも不足よもあらじ。

形 前同様前列唱ふ

かやうに祝ひつゝ

後列之より唱ふ 前列立上る程よく烏帽子折りたてゝ

前方の方に出

下に居立

烏帽子懸緒取り出し 氣高く

結び濟まし召されて

御覽候へとお

お髪の上

打ち置き

立ちのきて見れば

天晴お器量や

これを弓矢の大將と申すも不足よもあらじ

皇帝

ことぶきなれやこの祝ひ天長く地久しくてつくる時もあるまじ。

形 後列も之れのみは始め

前方に出

天長く地久しくて

つる時も

之の位置下に居る

あるまし

（猶始めは此構へが一番むづかしくありましたが年長の子丈致して、後は見る役にして置きました處、見て覺へたのでせうか扇子を持つと、直ぐに構へまして、たやすく出來ます。一寸時候がはづれて居りますが序ですから今年の節句の時の事を申上ます。

學齡前の幼兒は十人を、皆「シテ」と致しまして、四十人丈はだいら様初め小野の小町高砂の爺や姥又左右大臣公卿其の他になして、人形のおひな様のそばに生雛様として、一人づゝ樂屋から一番年少の子に連れさせて來まして、壇上にかざります。かざりきりますと、おひな様に是からお舞を御覽に入れますと奏問して、洋琴を始めますと、前申した西王母の一隊が出て參り、形の如く致します。夫れがすみますと、旅の衣にすゝかけのご申しますと、此度は男幼兒二十人山伏の装束で出て來り、出揃ひてから洋琴に合せて場の中央を一週させます。恰度、雛様の前に立ちますと、勸進帳の代りに節句の唱歌をくり返し唱ひます。一週致しました時はポプラの金剛杖を洋琴に合せてつき立てますので賑やかです。次は年少の幼兒等の遊戯や唱歌やお話で、お雛様を撤廢してから全幼兒其他に赤飯と相當の副食物を

一齊のお辨當に入れて今日のお祝ひとして頂かせます。殖民地故、内地のかゝる行事を印象させて置く必要があると思ひまして、之れも四五年前から始まりました。お赤飯丈でも、三斗も致します、夫れに雛様始め夫々の仕立に一寸時間がかゝりますが役割をくじ引きで致しますので役にあたつたお子のお母さん等が手傳に來てくださるので、お赤飯がゝりや裝束がゝりと夫れはく賑であります。

某商店の輕氣球の昇れるを見てK子曰く、

「あれは何等まであがるのでせうね」

傍のM雄これに答へて、

「天まであがるのさ」

K子重ねて

「そうして、天の神様にぶつかるの？」

といへば、M雄はつよく頭をぶつかで、

「いえ、ぶつかりはしないさ。そうすると、神様は雲にのつて、

すつと向ふへいらつじやるのです」。

廿餘年の經驗から

朝海幼稚園長 千葉秀子

私が幼稚園事業に従事して以來今年迄實に二十四年立ちまして御座いますが、毎日心の清らかな子供達の相手をして居ります爲か、いつも若かやいだ心持ちで居ります。けれども今迄經て來た年月を懐古して見ますと、嬉しい事やつらかつた事が、織物の

たて絲、よこ絲となつて、人に語つてもわからない、種々の模様を織り出して居ります。最初に私が參りました幼稚園は、横須賀の豊島小學校附屬幼稚園でございました。それからしばらくの間上京いたしましたから、また横須賀に參り、横須賀小學校附屬幼稚園の方へ勤めることになりましたので、最初に居りました豊島小學校附屬幼稚園から、どうして私の方來てくれなかつたのかと、手ひどく抗議を申込まれたことをよく覚えて居ります。その後上京して、只今の主人に嫁し、日本橋坂本小學校附屬幼稚園に三年ほど勤務いたしましたして、それから朝海小學校の附屬幼稚園なる朝海幼稚園にまゐりましたのが、明

治三十六年で、現在まで十九年この朝海幼稚園に居りますわけで御座ります。

不幸にも明治四十二年に火事が起りまして、類焼してしまひました。其の火事は明け方に起りましたので、宿直の先生が一人居たさうで、やつこの事で御眞影を御出し申したきりで、道具等も悉く焼いてしまひました。勿論私共は一向火事のあつた事も知らず、其朝はいつものやうに輝しい心持ちで、子供に逢はうとして、幼稚園にまゐりまして、灰にきした幼稚園を見出したのですから、其時の失望と驚きとは言葉にも表す事が出来ませんでした。これは私共ばかりでなく、其の朝電報で初めて知りて、飛んで來られた當時の朝海小學校長笹野豊美氏も、非常に心痛されたのであります。それで私共は臨時校舍を、明石小學校と東洋印刷所との一部分を借りて、其處でしばらく幼稚園を續けて居りました。東洋印刷所はもと／＼が印刷所ですから、教室としては實に不適

當で牀は油で眞黒に塗られてありまして、する／＼と子供達が歩くとすべりさうですし、其の上子供達の著物の裾がこゝに一日遊んでゐると、まるで裾模様を染めた様に五六寸の高さまで眞黒になるのでした。私共も子供達を教へ導くといふよりも、この牀にはすつかり困まらされてしまつて、朝から脊中まで裾をおはしよりして苛性曹達でのお掃除をしましたから、その忙しさといつたら申上げやうもありませんでした、こんな惨めな所で幼稚園を開いて居りましたので、父兄の方は大切なお子様方をとても御よこしにはならぬだらう、と心配いたしました。思ひがけぬ火事や私共の熱心さに厚く御同情下さいまして、其年も園児の申込みは前にも増して澤山ありました。其の中に京橋小學校が建築されましたで、其處の附屬幼稚園として、京橋小學校に同居させて頂きましたが、二十五坪位の教室が二つしかなく、而も園児は百五人の大多數でございましたから、其の混雜の様一通りでなく、一方が授業してゐる時には一方は運動場で遊ばせ、一方が入口から這入ると一方は大急ぎで出口から出る、といふ大騒ぎでした、けれどもこのやうに設備が不完全であればある

ほど、精神はますます確乎となつて來て、子供達を愛する心、子供達をよく導かうとする心は、日を逐つて増してまゐりました。とにかく私共は困難をして居るものゝ、精神は常に愉快でありました。

朝海幼稚園が京橋小學校の校舎をゆづられて獨立しましたのが、明治四十四年三月でありまして、其時にも園児は二百五十名ほどありました。この獨立以來、私共は自由を得ると共に、努力を一層まさなければならぬ事を知りました。只今の校舎は大正三年に改築されたもので、幼稚園としては先づ理想的なものと言つてもよろいしと存じて居ります。只今までの卒業生は千六百人程になりました、社會の有力な位置に立つてゐる男子方や、大學、高等學校、高等商業、高等工業等の専門學校に通學してゐられる方や、婦人の方では既に結婚されて可愛い、お子持ちとなられた方もあります。一昨年初めて同窓會を開きました。この以前にも同窓會を催したいと云ふ希望はあつたのでございましたが、前に述べましたやうに色々幼稚園の校舎が變りました爲め其他の事情で出来ませんでした。私共女が幹事になつて致しますことですし、初めての催しですから、百人

も集まつたら、大手柄だと思つて居りました。所がどうでせう、七百五十名集つて参りました。然も之は火事前の卒業生の名簿は焼失されてゐましたから、其の以後の卒業生に同窓會の通知を送りましたので、それですからもし最初からの卒業生に通知を出しましたらどんなに大勢集りました事です。其時保護者の方が六人幹事になつてゐて下さりました。その方々が各人五十圓づゝ總計で三百圓を寄附して下さいましたが、これがこの幼稚園の最初の寄附金でして、私共はこれ迄に寄附金を頂きませんでした。第二回は昨年催し、六百人集りました、一回、三回となると、何處の學校の同窓會でも集る人數が減るものでございますが、二回目で六百人といふのは實に有望ではありませんか。同窓會はいつも昔の幼稚園時代を思ひ出させる子供にかへらせる爲に、むづかしい事は一切さげまして、娯樂を主とします。卒業生にはマンドリンが上手な人もあれば、ハーモニカの上手な人もありますから、それ等の人々がより集つて音楽を合奏しましたり、或は大神樂等を頼みましたりして、盛に面白く遊びます。又模擬店を造りましたり、浦島の龍宮城をつくりま

したりして、すべて卒業生を何十年か前の子供のつもりで迎へます。それから特に卒業生たちに感謝されますのは、小さい子供に餘興として遊戯等をさせますと、昔を思ひ出して大層なつかしいと申して居ります。この同窓會をいたしました爲か、卒業生からは今年などは年賀状が澤山まわりました。私の机の上に山のやうに積み重りました。さうして大學生になつてゐる方や、お母様になつてゐる方が、「先生」に時代遅れもいつまでも先生／＼と云つて下さるのをはづかしく思ひますので、「お母様」と呼んで下さいます。いづつも申して居ります。

今迄申し上げた事はほんとに平凡な事でございますが、これがまた私には非常に嬉しかつたのでございます。私には只今十七歳になる娘がござりますが、其の娘よりも幼稚園でお教へした御子さん方が親しいやうに思はれます。まことに幼稚園ほど私が好きな所はございません。私は身體も幸に健全な爲め缺席する事は殆んどありません。ございまして、今から四五年前病氣にかゝつて五十日ほど病つた事がございました。幼稚園を一日休むのが悲しい爲、身

體に悪いと知りつゝも我慢に我慢を重ねて出席して居りました爲め、卒倒するやうになりましてそれからずつと病の牀に著きました、熱にうかされながらも絶えず幼稚園の子供達と遊んだ夢を見て居りましたのです。御見舞に來て下さる方々がありますと、昨日まで幼稚園に居つたのにと、幾日ながく病氣で居りまして幼稚園に居つたやうな氣がいたして居りました。一體この幼稚園は山の手の家庭の子達の通學する幼稚園とは違ひまして、商家の家庭の兒童が多うございますから、言葉が適當でないかも知れませんが中流下流の兒童が集つてゐます。よく學習院や高師の附屬あたりへお子さんを通學させてゐる御家庭から、私共の幼稚園の名を聞きまして是非入園させて欲しい等と頼んで來られる方もあります、そんな時には私共の幼稚園の性質をお話して、それでもよいならばと申上げて居ります。その代り、幼稚園に來る迄餘りよくない性質を有して居つた子供等も、此處に來ましてから目に見えてよろしい成績をあげますので、却て良家からの兒童よりも私共には興味が多いわけでございます。それですから、母の會を開きまして、お母様と一緒に絶えず幼稚園

で私共がして居ります事を家庭でも行はせるやうに注意して居ります、初めは父兄會といふやうに、お父様でもお母様でもどちらでも出席さへして頂けばよいと云ふ事に極めて自由に定めて置いたのであります、お父様は子供の細い點には御注意なすつてゐらつしやることは少いし、又お母様方はこれが日本婦人の特長なのでございませうが、男子方がゐらつしやるこそその前で御遠慮して少しもお話にならないのです。これでは折角の會も目的を達することが出来ませんから、私共が色々考へた末に、母の會に致す事に定め、而も全部の兒童の家庭から一度期に母の會をしますと、混雜する事が多く、くわしく御話を伺ふ事が出来ませんから、組々で分け、十日もかゝつて致しますと、一人／＼ゆつくり御めにかゝれますから、大層有効に參ります。それから園児には色々の注意書を家庭に持參させて居ります。クリスチャンの家庭と佛教の家庭では子供の教へ方に差異があるものですから、御宗旨は何ですか、と云ふ問ひを出します。入園前と入園後の行爲はどうですか。幼稚園を好みますか、金錢をつかひますかと、幾種もの問を提出します。殊に金錢を使ふか

どうかは嚴重に調べます。其理由は此の邊ではすぐそこへ出れば駄菓子屋が竝んでゐると云ふ風で、子供の監督に大層よろしくない所ですから、よく父兄方が幼稚園にあがつてゐるので、間食する事が少く、腸胃が丈夫になつたなど、感謝されるのであります。今年から新たに、牛乳でお育ちになつたのか、母乳でお育ちになつたのか、言ふ質問を加へようと思ひます。これは牛乳と母乳とでは、子供の體質の上に大きな關係がある事でありませぬ。

二十四年も幼稚園教育に従事してゐたのですから、賢しい人であればどんなに立派な研究もなさいますことせう。然し不肖な私は何も立派な研究が出来ませんでございましたが、身體検査に就いて、幼兒のしつけ方に就いて、少しは調査いたしましたことございます。身體検査は小學校に參りませんと充分なる注意を以て行はれてゐませぬし、それも一年に一回位行ふだけでありますが、幼時の身體は發育が烈しいものですから、尙更屢々行はれなければならぬと存じまして、毎月一回づゝ行つて居ります。二百五十名の兒童に、毎月かゝさない身體検査を行ふ

といふのは、大した手数でありますけれど、幼稚園は何も徳育、智育にばかり重きを置く必要がないので、むしろ體育を最も重大視しなければならぬやうに考へられます。或時、顔の血色も普通で、幼稚園にも毎日缺席せずに通つてゐる子供がりました。が、體重が月毎に減じて行きますので、私共も不思議に思ひ、其の子供の母親にぞにかく醫師に診察して貰ふやうに注意を與へました。それから二三日立つて母親が來て云ひますには、「ほんとうに有難うございました、心臟が悪かつたのでございます、」といつて非常に喜ばれました。かけつゝなんかしたらば、きつと鼓動がはげしかつたせうが、子供の事とて氣づかずに居つたのでした。このやうに小さな發見でも、それが非常に尊いことでございます。昨年は流行感冒がありました、兒童の出席が一定して居りませんでしたので、身體検査表も完全なのが出來ませんでしたし、又今年のは只今成作中ですから、一昨年大正八年に調査したものを、一寸御參考までに、申上げます。

體重平均表(四歲) 右は男兒 左は女兒

四月…三・九〇〇

五月…三・九〇〇

三・七二〇
六月……三・九二〇
三月……四・二六〇
三月……四・二六〇
三月……四・二六〇
三月……四・二六〇
三月……四・二六〇
三月……四・二六〇
三月……四・二六〇

三・七八〇
七月……三・九一〇
二月……四・二四〇
二月……四・二四〇
二月……四・二四〇
二月……四・二四〇
二月……四・二四〇
二月……四・二四〇
二月……四・二四〇

身長平均表(四歲)

四月……三・一八

四月……^尺三・一二

六月……三・二二

六月……三・一六

九月……三・二七

九月……三・二一

十一月……三・三〇

十一月……三・二三

一月……三・三四

一月……三・二五

三月……三・三六

三月……三・二七

五月……三・三一

五月……三・二三

七月……三・二四

七月……三・一七

十月……三・二九

十月……三・二二

十二月……三・三一

十二月……三・二四

二月……三・三五

二月……三・二六

體重平均表(五歲)

四月……四・〇二〇

四月……四・二〇〇

六月……四・一五〇

六月……四・二七〇

九月……四・二六〇

九月……四・二〇〇

十一月……四・三〇〇

十一月……四・四五〇

一月……四・三四〇

一月……四・四六〇

三月……四・四一〇

三月……四・五五〇

身長平均表(五歲)

四月……三・三三

四月……三・二八

六月……三・三七

六月……三・三二

九月……三・四一

九月……三・三七

十一月……三・四四

十一月……三・三九

一月……三・四七

一月……三・四二

五月……四・一〇〇

五月……四・二六〇

七月……四・二二〇

七月……四・二四〇

十月……四・三一〇

十月……四・四一〇

十二月……四・三二〇

十二月……四・四三〇

二月……四・三七〇

二月……四・五〇〇

五月……三・三五

五月……三・三〇

七月……三・三八

七月……三・三五

十月……三・四三

十月……三・三八

十二月……三・四五

十二月……三・四一

二月……三・四八

二月……三・四四

三月……三・四九

三・四五

體重平均表(六歲)

四月……四・八〇〇

四・二六〇

六月……四・六一〇

四・三七〇

九月……四・五八〇

四・四〇〇

十一月……四・八一〇

四・五七〇

一月……四・八四〇

四・五八〇

三月……四・八八〇

四・六八〇

身長平均表(六歲)

四月……三・四七

三・四五

六月……三・五一

三・四九

九月……三・五五

三・五四

十一月……三・五八

三・五七

五月……四・六五〇

四・三一〇

七月……四・七二〇

四・三六〇

十月……四・六九〇

四・四七〇

十二月……四・八〇〇

四・五八〇

二月……四・八六〇

四・六一〇

五月……三・四九

三・四七

七月……三・五三

三・五一

十月……三・五七

三・五六

十二月……三・五九

三・五八

一月……三・六一

三・五九

三月……三・六四

三・六二

二月……三・六三

三・六一

又私が研究して發表しました幼児のしつけ方といふのは、幼稚園で子供に接してゐる間に目につく、百七十項の幼児の悪癖に就いて述べたものでありまして、入園すると直ぐ家庭へこの小冊子を配布して居ります。

私は年若くて幼稚園へ第一步を踏み出して以來、從來は自分一個の理想通りの私立幼稚園を設立したいと云ふ希望を絶えず燃やしてまゐりましたが、今はこのやうに立派に設備された幼稚園に置いて下さいます、自分の思ふが儘に振舞つてゆかれますので、もう私立幼稚園は新しく建てなくとも、私の理想は殆んど完成されたのでございます。たゞ時代遅れになりませんやうに益々修養を積んで、感謝しながら一生此處に可愛い子供達とのどやかな日を送りたいと存じます。

子供を大切にせよ

青山女學院教頭 塚本 は ま 子

私は幼稚園や小學校の教育には誠に知識の少ない者でございますが、只澤山の子供がありますので、幼稚園教育には餘程興味を持つて居るつもりでございます。私のもちました六人の子供は皆幼稚園のお世話になりました、今日では一番大きいのは二十九歳にもなり、一番小さいのも中學の四年でありますので、幼稚園時代とは随分年限は隔たつて居りますが、やはり教育者のはしくれである私は常に幼稚なる兒童の保護や保育には多少注意も致し、又いくらか考へても居るのでございます。

題目は「子供を大切にせよ」と致して置きました。が、その大切と云ふ意味はどんな事かと申しますと例へば吾々人間は皆各自が屬する社會が進歩發展する事を望んで居ります、恐らく何人もこの一事に反對する人はない事だらうと存じます。是を語を換へて言へば文明進歩の慾望とでも申しませうか、何人も皆この社會が進歩する爲に一生懸命に働くのであ

ります。然らば吾々は社會の如何なる方面に努力する事が、社會進歩の爲に最も必要な事かと考へますと勿論道路を改修して車馬の往來を便にし、交通機關を完備して日常生活を利する事も、又市街の外觀を善美にする事も必要ではありませう。併し是等の事業を實行して立派な建築物や、美しい道路を造り、又これをよく維持して行くは皆人間であります、従つて何よりも先づ立派な人を育成すると言ふ事が根本ではないかと信じます。然らば其人間を立派に仕上げるには如何にすればよろしいかが餘程緊要な問題だと存じます、之を一言にして言へば、兒童を立派に教育し且つ養護する事であります。若し現在の兒童に立派な教育や養護を受けしめないとするれば決して次代の社會を、より進歩せしむる事は不可能であります。彼のピートル大帝が帝位につかれた時、其政策として先づ其都を立派にせんと力められ又世界に誇るに足る高等な教育を盛にしやうと力を注いで

都市改良や大學建設をせられました、道路街頭の美、貴族教育の獎勵は誠によい事でありましたが、國民全般の教育殊に幼兒小兒の教育に注意しなかつた結果は今日の露國を見れば實に明瞭であるのです、現在あの慘憺たる有様は如何ですか、實に上すべりの教育程危険な物はないのであります。如斯考へて來ますれば、社會の改良も國家の繁榮も要は兒童を立派に教育すると言ふ一事に歸著します。尤も自分の子供を立派に教育せねばならないといふことは、何も特に言新らしく申さずとも、明白の事であつて、又事實親御達が子どもの教育に心配し努力してをられる事は、昨今の中學校、女學校等の入學難に就きまして、その親達がどうかして是非入學させたいと夢中になつて居られる其の目、其の顔付を見ます時、私は實に其心根を推して涙がこぼれる程でありますから、最早此以上兒童の教育が大切だ、兒童を大切にせよと申し上げる必要はないことのやうに存じます、併しこゝに注意すべきことは子供を大切にすることいふ事は、子供を手の内の玉とせよと云ふ意味では決してないのであつて、子供の能力を充分に發達させ發展せしめて有爲有能なる人にせよといふ

事でありました。かゝる事は子供を持つ親達のどなたもが望む所でありませんが、實際世間で見るところではこれから發達する子どもの天然自然の能力を大人が却つて妨害し阻止する場合は決して少くはないのであります。是れは一つの實際話でありますが、十五六年前のことですが、或貴族の娘さんである小學校の尋常三年生で十歳位のかたがありました、誠に愛らしく又數學や國語のやうな學科もよく出來たのでしたが、手先は餘程無器用で技能的の學科は全く不出來でした。この方が困つた事には學校で皆のやうにお辨當の御飯を自身で戴く事すらも出來なかつたので、食事時間になるとお附人が來て食事をさせるのであつたのです。然るに學校の方では不都合だとこれを止めて見ました、それから仕方がなくて小さいお握りを毎日持つて通つたと申します。そこが何故にこのお姫様は十歳にもなつて獨りで食事をすることが出來ないほど無器用かといふ事を調べました所が、このお姫様には上のお子が四人もあつたが何れも夭折してしまつた爲、この子一人は如何にかして育てたいといふ御兩親の考へで家庭教師一人、看護婦一人、女中三人を付けて置きました。唯一人

の子供に數人の人々が附き添うてゐる爲、そのお姫様は段々生長して自分で手足を動かすやうになつた時皆が抱きづめにしてゐたのは勿論一寸ガラ／＼でも取らうとすれば、このガラ／＼でございますか、ハイガラ／＼と云ふやうに争つてお附人たちはすぐ玩具を取つて振つて見せ少しもお姫様の自由に何かをさせなかつた爲、這ふ事も動く事も不自由で、遂には自ら食事をする事すら出来なくなつたこの事です。自分の手足を充分に心のまゝに活動させる事に依つて自然に何でも出来るやうな即一人前の人間となるものであります。従つて皆様の御家庭に於ても「それはお婆さんが取つて上よう」とか「帯はお母さんが結んでやる」「髪は姉さんが」と言ふ風にしては決して子供を大切にする所以とはならないのであります。一人前の働きの出来るものをわざ／＼防げる事になるのであります。自由に自ら活かしてこそ、その能力を充分に發達させ發揮させることになるのであるこれを自營とか自治とか申すのでございませう。無論その爲めに親はその設備その工夫が入用です。帽子掛も下駄箱も兒童自身で用ひ得る様に設備してやる事が其自營心養成の第一歩になるのであります。

す。かゝる方面に苦心を致すことが私の申す子供を大切にするといふ意味であります。

次に申上たい事は幼い時から善惡を考へさせて、自發的に善惡の判斷や選擇を誤らない風を養成したい事でありませう。私が或時旅行中の事、列車の一室に一人の母親と五歳位と、七歳位の子供との三人連の客を見受けた事がありました。其時兄なる子供が弟の玩具を取り上げた爲弟の方が泣き出して騒いで居ました。其母なる人が兄の方の子供に『そんな事をするよ向ふのお婆様が笑つて居ますよ』と言つて居ました。此母の言葉は當を得て居るでせうか、善惡の標準はかく人の見る見ないによつて決するものでせうか。人様が笑ふと笑はざるによつて其行爲の正否善惡を決定する事が出来るでせうか。善惡良否は人の在否に關せず善は善なるが故に實行し、惡は惡なるが故に止めると言ふのでなくてはならぬ。先生がゐるから警官が居るからとそれを行爲の標準の第一にすべきものではないでせう。又勉強をするにしても先生が宿題を出して呉れなかつたから私はこんなことは知らないといふ様に何によらず人を宛にして定まるものではない、これは根本から考

へて戴いて、子供自ら善い事か悪い事か判断を誤らさないやう自律の習慣を養成することは極めて大切なことであります。

次は子供の研究心に就いてであります。

子供は實に仕事に熱心なもので、殊に動植物等の自然物に直接觸れます時には多大の趣味と研究心を動かします。大人ならば専門的な學者以外誰も願みない様な事柄でも、小兒は好んで研究しようとするです。例へば蠅とか、蟻とかの如く日常彼等の生活に縁近い者には深い注意を持つて研究せんとする心があります。其の尊い研究心を妨げないで導き進める事は、實に頗る彼等の非常なる進歩と自修自得の習慣を形成する因となるのだらうと存じます。私が以前静岡に居た時のことですが、その頃尋常六年生位になる子どもと記憶しますが、或日お庭の縁側に居ますと、あの地方には色々の蟻が居りますが、その蟻をしきりに追つかけてりして遊んで居ました、其時私が蟻の種類を集めて見たらば面白いでせうと申しましたら、その後その子供は一生懸命に僅か二十坪程の庭の中から二十八種ほどの蟻の標本を造り、この蟻は喧嘩するとか、しないとか、この蟻

はさすとかささんとか云ふ點迄調べて私を實に驚かしたことがあります。是も私の一言が子供に研究の動機を興へたと言へるだらうと存じます。又こんな話もございます。ある日夕食後私が庭で子どもと色々自然界の話をして居りますと、其子供は庭の松の木を見てこの松の木はどうして生へたかと聞きました、そこで私はそれはもつと大きな松の木の實が地に落ちて生へたのですと申しますと、其大きな松の木はどうして生へたかと、又問ひますからそれはもつと大きな松の木の實から生へたのでせうと答へましたが、その大きな松の木はどうして生へたかといふやうに次第に問ひつめられて大變に困らされた事がありました。とうとう終りにそれは母さまには分らないから坊やが大きくなつて學問して研究するのさと申しました。然しこんな時には多くは「うるさい事だ」などと叱つて研究心を阻止する場合が多くはないかと思ひます。こんな時には、お母さんは判らんから大きくなつたら研究してお母さんに教へてください。と云ふやうな返事をして子供の研究心を益々向上させたらよからうと存じます。

更に親が注意すべきは子供の行爲を尊重するといふ事でありませう。子供が著物を汚しながら、地面を掘り返してお池をこしらへたり泥のあべ川を作つたりして居るのを大人から見れば實につまらない事であるが、所謂いたづらと思はれますが、このつまらない事が、子供の全生活であるといふ事を知らなければなりません。唯頭からくだらない事はかりと叱りつけるやうなことのいけない事は勿論一步進んで其仕事を尊重してやらなければならぬと思ひます。然るに多くのお母さん達はお八つをあげるとかおいもがふかせたとかいふやうな事とその熱心な研究や大切な仕事（小兒の爲には）をやめさせたり妨げたりする事が少くないのは甚だよくない事です。

幼いときから社交性を養ふ必要があります。

赤坊が泣き出した時にでも、誰れか人がおゝよしよしと言へば赤坊ですら泣き止めるのが通例であります。これを見ても人間には生れながらに社交性といふものがある事が判ります。又獨ものゝお婆さんでもよく猫を抱いて咄しをしてゐます。是も社交性の本性を表してゐるものだと思います。我國人は元來社交は不特意で拙劣であります。婦人に於て特に

然りだと言へませう、これは今迄女子が社會から冷遇されて居た事に依るだらうと存じます。「物言へば唇寒し秋の風」と昔から申し、我國の女子は由來引込勝で、社交が圓満でない、少年時代から社交性を養ふと言ふ事は極めて肝要な事であると思ひます。

日本人は知人に對してはあく迄親切であるが、知らない人に對しては極めて無關心である、電車の内でもよく經驗する事がありますが、若し知人でもゐると如何に込合つてゐても、無理に、狭い間へ坐らせたりするが、知らない人だと自分の前に老人が重い荷物を持つて立つて居ても平氣であるのが通例であります。打算的だと申しませうか兎に角氣持の悪い風俗であります、どうか我々は人の喜びを以て自分の喜とすると言ふ美しい社交性を養ひたいと存じます。又子供が机の角で頭を打つた場合多くの親達はこの角が打つたか、角が悪い机が悪いと言つて打返すのが常でありますが、果して机の角が悪かつたでせうか、この方法は徒に復仇の心を教へる事になるのではないでせうか、かゝる時にはおゝ坊やもいたかつたらうが机も痛かつたに違ひないと言つて他愛的に取扱ふ方がよくはないかと存じます。要するに

他愛を基礎とする社交性を幼い時から養ふ事が餘程必要な事柄だと思ひます。

最後に青年を大切にせよと申したいのであります。幼稚園、小學校、中學校の二三年位迄は誰もよく子供を愛するものですが、中學校の三四年以上になると餘り注意をしなくなりますが是は非常に間違つた事であつて、この青年期になると彼等も性質が次第に變化して來る。親に頭を撫でられただけでは満足しないで他の愛に入らんとする傾向を持つて來ます、この時期は深い注意を以てその朋友の愛のよからぬものに捕へられないやうにしなければならぬのであります。其時代の青年男女の心理状態として、其交はる周圍の人と共々に行動するものでありますから、常に自分の子のみ獨りよく教育しようとしてもとても出來ませんから、其友達と一緒にして教育する即ちその子どもの居る社會をよくするやうに注意せねばなりません。いひ直せば子どもはどんな友達と何をして遊ぶかを親が明瞭に知らなければならぬのです知つて若し教育上よろしからぬ場所にでも遊ぶ傾があれば子どもとその友達仲間とを一緒に健全な遊び場に移す工夫をするので例へば友達の間違ひも

一緒に拵へてさあ郊外においでとか友達の間違ひも時には洗濯して上るからおいでといふやうにすることが最も緊要なことで、青年になつたからとて急に放任するが如きは大變に間違つた仕打であると思ひます。

愈々最後に御婦人方に御注文致したい事がございます。世の中が漸次多忙になつてきて、子供の身上についても色々計畫を立てて教育せねばならぬいし、其他洗濯、食事、裁縫と婦人の任務は日一日と多忙となり、殆ど讀書の暇さへ容易に見出し難い時代となつて參りました、こゝに於て、吾人婦人は如何なる工夫かに依つて餘裕を作りたいものだと思ひます。それには唯一に衣服の方に手の入らない工夫をするより外に道はないと考へます。私は綿入といふものを廢し裕を冬から著て居りますが甚手数が少くて便利です衣服に手を入れるのが何よりの敵だと思つて、其時間を削ぎ、之を利用して讀書や子供のことを考へるやうにしたいと思ひます。限りある時間内に限りなき雜務を處理する主婦としてはかゝる方法によつて、最愛なる子供の爲めに教育を進めて行かれることを切に願ひしてこの講演を終ります。

奥國兒童保護事業の情況

最近の世界的戦争が、如何に各方面に於て、巨大なる損失を生せしめしかば、一般社會の知るどころである。而して人命の眞價も亦此戦争によりて、一層深く感じられたのである。戦後の歐洲は、人命の保護、殊に兒童の生命保存のために、多大なる努力を注いでゐるのである。某國等に於ては、既に戦前よりして兒童保護の必要を認め、極力斯業のために盡したのであるが、戦後に於ける奥國の兒童保護事業の發達は、殊の外著しいものである。乍併戦前の奥國の兒童保護事業は貧弱なものであつた。最初の兒童保護事業は、一九〇八年に開始された處の彼の嬰兒及び青年の保護中央協會であつた。該事業は私設機關であつて、支部も數ヶ所に設けられたのである。其目的は各年齢を通じての兒童及び母親の保護であつた。外に母親相談所等も數ヶ所にあつた。其他の私設事業もあつたが、特に注意する程のものでもなかつた。中央政府は病院、孤兒貧兒院等には、

内務省囑託 甘粕 なべ子

多少の補助を與へしも、兒童保護事業には殆んど意を用ひなかつた。政府が痛切に該事業の必要を認めその宣傳につとめ初めたのは、一千九百十八年であつた。當時内務大臣が政事當局者に一文を提して、妊婦、乳兒、嬰兒、幼兒等保護の必要を説き、且つその實行方法を例擧したのである。併し資金に關しては、中央政府の責任でなくして、主に地方廳及び都市に負擔させる方針をとつたのである。たゞ特別の場合に於てのみ、中央政府が補助を與へるのであつた。かくの如く財政上の援助は僅かなものであつたが、兒童保護問題の重視程度は、爲に國家直接の參與事項となるに至つたのである。而して政府が此の重大な問題の解決方法の急務なる事を自覺して來た事は、非常な進歩的傾向と云はねばならぬ。斯くて新しく社會省と保健省とが設立された。而して此兩省はともに兒童保護に關した事業をしてゐる。社會省に於ては、特に兒童に關する調査委員を設け

たのである。兩省共に僅かではあつたが、児童保護に對する豫算もあつたのである。社會省では母親及び児童に關する實際の事業、並びに立法に關し凡ての児童保護の機關の統一を圖つてゐる。而して保護省では産院、母親保護院、母親相談所及び託兒所等に關する衛生的方面の監督をなすのである。

併し昨年から中央政府以上の活動を開始した州は下アースリアである。同州は塊共和國全體の人口の三分の一を占め、内地に關する立法の權限内へ持つてゐるのである。同州の政府が児童保護事業に直接關係したのは一九一四年である。公衆保護制度なるものが一九一四年の一月に設けられた。該公衆保護課に於ては、私生兒及び或理由の下に養育資格のない親を持つてゐる児童の保護をするのである、該事業の管理者は政府に指命された男子であつて、其の下に女子の訪問者と云ふのがあつて、孤兒貧兒の家庭の監督をするのである。戰爭開始後は該課の事業も大いに擴張したのである。乳兒をもつてゐる母親の軍事料請願の手續等あらゆる世話をしたのである。又母親相談所が數ヶ所に設けられて、無料牛乳カードを哺乳者に與へたのである。一九一五年の一月に

於て財政困難なるにも拘らず、同課は貧困な妊婦に補助を與へたのである。被保護者の數は婦人も兒童も漸次増加してきた。如上の事業は社會一般から非常に歡迎された。一九一九年の四月九日に議會は同課の活動を賞し、同課を下塊州兒童局と改名した。同局の活動は非常に盛んにして、一九一九年中には三萬人の児童を永續的に保護し、一九二〇年には出生率が高かつたので、被保護兒童數は五萬人に達する見込であつて、一人につき平均百圓の費用を出してゐる。同局の公衆保護課にては八十一名の男子が專任となつて働いてゐる。其他百十五名の婦人の職員もゐる。特に二千五百名の篤志家の男女が孤兒の監督をしてゐる。兒童の生命を保有するには、先づ第一に母親の保護の必要を認め、同局にては母親相談所に重きをおいてゐる。一九一九年には百二十個の母親相談所があつた。そして更に其當時三十三ヶ所に新しく相談所が建設されつゝあつた。日々多數の母親及び妊婦が相談にくるのである。各相談所は一名の醫師が之れを管理してゐるのである。そうして幼兒死亡率を低くするために、極力母親の哺乳を獎勵してゐる。又同局に於ては地方へ派出する社會事業家の養成所を設けたのである。不良少年豫防策とし

ては三十ヶ所に晝間娛樂所を設立し、樂器、裁縫、ミ
シン、手工道具、圖書室等の設備をなし、通學兒童の
放課後に於ける監督をなしてゐる。この施設の管理
責任は成可く兒童及び親に負はする様にしてある。
其他八都市に圖書館を設け、學齡兒童に善良な讀書
に趣味を持たせる様につとめてゐる。又同局にては
教育的な小冊子を安價にて發賣してゐる。一千九百
十九年に職業相談所を八ヶ所に設立した。此種の事
業は特に學校との聯絡が必要なので、該相談所の願
問は學校教師である。併し戰事中に生ぜし産業界動
搖のため及び雇主其外社會一般の了解を缺いておつ
たので、該事業の進歩が大いに妨げられた憾があつ
た。併し同相談所にては、有害な職業の代りに適當
な職業を與へる等、相當の好果は擧げたのである。又
少數の同情者は衣類等の寄附も申込んできた。或は
徒弟として引取りし篤志家もあつた。勞働兒童及び
青年のためには、晝間娛樂所を夜間に解放して、特
に彼のために適當なる書籍を備へてある。一九一九
年には、身體虚弱な兒童のために十三ヶ所に保護院
が設立された。その建築物及び設備の完全なる事は
専門家の皆驚嘆するところである。既に三千名の兒
童が是等の保養院に收容されたのである。昨年は富
豪が地所及び家屋等を同局に提供したので、千九百
二十年に於ては八千名の虚弱兒童を收容し得る見込
である。同局は一都市に存在する凡ての兒童保護機

關を一つの建物に集中する事の便宜なるを思ひ、既
に七都市に於てこれが實行を見たのである。そうし
てその統一されたものを兒童ホームとよんでゐる。
其他の都市にても近くその實行を見るであらう。一
都市の如きは、この兒童ホームに、徒弟クラブ、青
年勞働者クラブ、通學兒童娛樂所、臨時醫療室、休
暇ホーム、兒童旅行者の室及び母親相談所等を集中
してゐる。

戰國時代に於ては、兒童の健康に非常な重きをお
き、運動體操等を大々的に奨勵してゐる。下塙州の
兒童局にては特にその必要を感じ、水泳、競走、跳
躍等をなさしめてゐる。冬は氷スベリ等の遊びを奨
勵してゐる。五ヶ所の休暇ホームにては舟こぎの設
備まで出來てゐる。

此外日用品供給課を設け、衣類道具、食料等を無
料、又は安價にて賣つてゐる。同局にてその費用を
負擔して居るも、他よりの寄附も多額あるのである。
下塙州の外に上塙州にても兒童局を設けたのであ
る。最近の報告によれば、兒童保護局が全國を通じ
て設立された筈である。此種の事業は各戰國を通じ
て實行されてゐる。一千九百十九年中にはベルギー、
ウルテンブルグ、セルビア等にも同様の局が設けら
れた。塙國の如く財政困難なるにも拘らず、かくの
如き兒童保護に對する自覺と活動を見るに至つたの
は、實に悦ばしき事である。

讀者の聲

日本幼稚園協會は其の名の表示せる様に帝國に於ける幼児教育の最高權威者であり亦た最良の指導者であることを熱望して止まない一人であります此の目的を達する爲めには貴會幹部に於ても常に御配慮に成ておりますが地方に散在している會員は御集會を味ふ位の程度で協會に對しまして熱烈に協賛の誠意を表して眞に自個の協會であると言ふ熱情が無いかの様に推量せられます、是れは勿論地方會員の罪であります、亦た本部に於ても帝都に重きを置き自然地方を輕視する様な傾向はありますまいか。果して然らば本部も其罪の幾分を負担しなければ成りません。そこで私は貧弱な頭から考へましたのは、日本の大小都市の幼稚園の實況を御調査に成りまして、之を雜誌に御掲載に成りますれば雜誌其者が日本化致しまして全國に會員も増し從て同情の念慮も一層濃厚に成りは致しませんでしょうか。さて、全

地方會員の一人

國大小都市の幼稚園の實況を調査することは、極めて難事の様であります、是は協會から各都市幼稚園の保母に何々地方通信員を御囑托になりましたら容易に其の報告を得て之を貴會に於て御取捨なりますれば、先づ全國の一般の概況が御判りになり、而して必要のものは雜誌にも掲げ亦御調査の結果に依りまして、一般方針を御指導になれば、地方に職を奉ずる者には、多大の利益を得て之を兒童に頒つことになり、其結果は無限のものと思ひます。此様に貴協會の指導が行届き、御恩恵を受けますことが多ければ多き程、協會の權威は益々増進いたしました、日本幼稚園協會の名實を全ふすることが、今日よりは、層一層確實になりはいたしませんでせうか、而して、猶一つの希望は、毎年一回協會の總會と共に、全國幼稚園大會を開催して、全國幼稚園代表者を東京に集めて、最も有効に最も有益に兒童の教育の眞髓を御發揚下されましたならば、國家の慶事之

に過ぐるものはありますまいと存じます。

微かな本會に對して各方面から熱誠をこめた御同情を頂くことを深く感謝いたします。仰の如く協會は全國の會で「幼児教育」は皆様の雜誌で、各地の情況、會員諸君の意見發表をもつて紙面を賑はすことが最も望ましいことと存じて、極力つとめて居りますが、まだ幹部にあたるもの、微力と不行届のため意にまかせません。しかし、追々本會の基礎も堅固になり行き、御希望にそひ得ること、信じ、且この上とも全國に散在せる贈講者の方々の御同情と御援助を願ひます。且また既に御加盟下さつた保育會、地方委員の方々の一層の御助力を切に希望いたします。この上とも、各地の保育會又は幼稚園團體の本會に御加盟下さること、竝に幼稚園御關係の方々が進んで地方委員として御活動を御申し出で下さるよう此の際特に願ひ申上る次第でございます。兼々お依頼申上っております各方面からの御寄稿も、御多忙の際とは存じますが、會員相互のため盛に紙上を通じて紹介させて頂ければ幸と存じます。(編輯係)

理想的の幼稚園

新湊川畔に新に出来た末正幼稚園の新築落成式

神戸の富蒙末正繁太郎氏が育英事業に興味を有ち東尻池其他に幼稚園を設立し直接間接に社會奉仕に盡瘁しつゝあることは世間周知の事であるが、更に新湊川畔に末正幼稚園を新築して居た、それが此程竣工したので二日午前十時から新築

落成式 を舉行した、同園は敷地總坪數五百四十五坪で園舎建

坪七十一坪五合七勺、内保育室が三十六坪、保母室十二坪、芝關一坪二合五勺、應接室及園長室四坪五合、便所其他五坪二合五勺、使

丁及附添人室五坪八合二勺、昇降口六坪五合五勺、收容園児は

九十名 で職員は園長末正繁太郎氏の外監事高井鷹治氏、保母淺

田照香女史外三名で運動場は百五十餘坪を有し園児一人に對し五坪

當り、殆ど理想的の幼稚園であるといふ、細雨蕭々と降り切る二日

午前十時、園内運動場に天幕張りの式場を設け、七八十名の園児

百餘名 の來賓、百名近い父兄著席、可愛園児の君々代合唱末正園

長の式辭があり、武永眞陽校長、福原鐘紡工場課長、望の月神戸幼

稚園長の祝辭、淺田保姆の謝辭があつて園歌「眞野の園生の幼兒を」

を合唱し無事式を終つて祝宴に移り、高井監事の

挨拶に 對し、白木兵庫署長來賓を代表して一場の挨拶を述べ

陛下の萬歳と末正幼稚園の萬歳を三唱し一時過散會した、來賓は本

庄教育課長始め市内各小學校長、幼稚園長、林田區選出市會議員等

で頗る盛會であつた(寄稿)

泉南兒童研
究會主催 兒童保護宣傳

佐 藤 滿 壽

日本幼稚園協會の有益なる兒童保護宣傳の新らしい催しが近來一般教育界の上に大なる刺激となり各所に於て種々なる方法の下に盛んに催される様になりました。こうした催しは私共幼稚園教育者にとつては誠によるこぶべき現象で御座います。又一般家庭の上にも兒童前途の上にも確かに多大なる効果の與へらるゝ事と信じて居ります。此度この聲の盛んなる好時季を機會として泉南兒童研究會でも會員協議の結果、泉南郡三ヶ町に於ける（佐野町立幼稚園、貝塚町立幼稚園、岸和田町立幼稚園、私立鳩巢園）四ヶ所の幼稚園聯合にて兒童保護宣傳の運動を催しました。何分諸所に於ける協會の盛大なる催と異なり、片田舎の事ですから立派な事は出来ませんでした。可成社會の注意もひき家庭の上にも兒童の上にも會其者の上にもよい影響のあつた事を喜んで居ります。二十八日には貝塚町に、二十九日は岸和田町に、三十日は佐野町にと云ふ順にそれ／＼其町に

於ける園兒の旗行列をいたしました。當日は當番園は勿論他園は臨時休園として職員は園長より小使に至るまで全部應援する有様にて各自我を忘れて園兒の保護と宣傳ビラ（特につくりし）の配布につとめました。園兒は手に／＼赤色を以つてなでしこの花を染抜いた小旗をふりかざし、「兒童保護宣傳」「子供は親の鏡なり親は子供の鏡なり」「子供は家の寶なり子供は國の寶なり」等の大旗を押し立て、それ／＼其園出身の小學兒童中有志の樂隊應援あつて、一行を盛んならしめ、警官の保護、園醫の出張何れも自發的に此舉を助けられ、父兄達の湯茶の接待等至る所に厚意を以つて迎へられ、なでしこの旗風にゆられつつ小さき口より出る宣傳歌の聲に涙催す者さへありました。列は凡そ二時間を以て解散いたし居りましたが、岸和田は町立私立の二園の園兒合せて二百餘名の多數なる町内も廣い事ですから、三時間かかりました。當日天候もよく時候も暑かつた爲幼兒の

中にはねむけを催し互ひに手を引き合ふてコクリコクリといねむりを催す者もあり歩き勞れて保母の脊に負ふさりし者僅に二三名で御座いました。

何分田舎にして今日まで威示運動とか團隊的運動とか云ふものゝ催しがすこしもない所ですから、かうした催が誠にめづらしく一般町内の注意をひいた事は大した事で御座います。その上幼い子供達の致す事ですから皆其愛らしさに目を傾けない者は御座いませんでした。當地方は工業地の事とて一般人心は物質方面にのみはしり教育的の考など皆無といふも過言ならざる有様で御座いますから講演會など開きましても中々集まらず、よし餘興につられて集りますと致しましても餘興が主となつて講演中はさわがしく誰も聞取れないと云ふ有様ですから兒童保護宣傳を徹底させる爲にはかう云ふ催しに續いて尙講演會なり何かの催しをいたしまして兒童保護宣傳運動の趣意を徹底せしめ度い考で御座います。

交 通 歌

尼崎警察署では交通取締の宣傳方法の一つとして簡易な交通歌を作り各小學校兒童其他に配布したが交通歌は左の如し

一、我等は日本のよい子供

人に注意はされずとも

道行く時は忘れずに

左側をば通りませう

二、天氣のよい日外に出で

運動遊戯する時は

人や車の妨げに

ならない所で遊びませう

三、道行く人が知らずして

もしも右側通るなら

我等は教へて上げませう

左を通つて下さいと

都鄙兒童自由畫展覽會を見て

一 會 員

純眞な心を有してゐる幼い子供等が感じたまゝを素直に表した、子供の自由詩とか、子供の自由畫とかは、近頃非常に重んぜられて來まして、小學校や幼稚園の教職にある方々や、家庭の父兄が非常に心を用ひて來たやうです。この爲か、去る五月十四日から十七日迄、澁谷常盤松の東京農業大學文藝部主催で、同校内に都鄙兒童自由畫展覽會も、毎日幼稚園小學校の先生方が兒童をひきつれられたり、又父兄の方が子供達をひきつれられたりして、校庭内に咲き匂ふ美しい花やしたゝる新緑を眺めかたがた、多數集つて居られました。出品畫は百三十點で、皆自由畫協會山本鼎氏等の選を経たもので、都會側からの出品は牛込の成城、本郷の富士前の兩小學校があり、地方側では信州の龍丘小學校、千葉師範附屬小學校の兩校がありました。東京市内でも、成城、富士前の二校に限らず、各小學校、各幼稚園からの出品が集つて居りましたならば、どんなに私共が見

ましても興味が多かつた事だせう。然しこの展覽會の幹事の方は、これは最初の試みであるから、計畫が充分行かなかつたが、次の催しからは、東京も地方もすべて出品學校の範圍を廣くして、種々變つた兒童の繪畫を竝べて、社會の方々が研究材料にし、自由畫の未來の發展に盡力したいと言つてゐられましたから、此の次ぎの催しはきつと立派な事と思ひます。成城小學校の出品は、帝展や二科會あたりへ出しても見劣りしない程の立派なものですが、色合の具合と云ひ、位置の取り方、觀察の點等、餘りにまどまり過ぎてゐて、これで子供が描いたかしら、と首をかしげさせられるやうなのが多いのに、少々驚きました。私共に餘り技巧に秀でたのよりも、ほんどうの實感を表したのが自然であり、また尊いやうに思はれます。こゝにどこの小學校か、今記憶に残つてゐませんが、たしか東京の小學校のでしたか、「人げん」といふ題で、尋常一年の女の兒が描いた繪

がありました。丸髷に結つた女の顔で、赤の手柄の丸髷がよこちよに描いてあつたり、お鼻がまがつたりしてゐるのは、却て愛嬌をそへて、場内の人々は皆その繪の前に立つて、子供の眞剣な描き方と觀察の妙味とに、引きつけられてゐました。これは多分その女の兒のお母さんの寫生に違ひありませんが、お母さんを寫生して「人げん」と題をつけたのなぞも、お母さん獨りが子供の目に「人げん」なるものゝ實質を與へてゐるので、心理學上から見ても面白いことだらうと思ひます。大人の畫家がこの女の兒と同じに、赤い手柄の丸髷の婦人を描きましたら、きつと、「女」とか、「美人」とか、言ふ極く平凡な題しかつけられなかつたらうと思ひます。「人げん」といふ題は、眞に子供が感じたまゝの最も尊い、然し天才的な表方でありませう。成城小學校等の繪は皆技巧に秀れてゐるに反して、信州の龍丘小學校のは、さすが水美しい山地の自然に親しんで育つた山間の子供達だけあつて、描くものは皆風景で、廣々とした野や、巨人のやうな樹木やが、子供の目で見られ、子供の手で描かれてゐるのは、實に飾り氣もなく生き／＼とした天然に接してゐるやうな氣がして嬉しく感ぜられま

した。この二つの傾向を表してゐる繪畫を飾る爲に、會場内には、東洋幼稚園の岸邊福雄氏が南洋から持ち歸つたバラオ小學校生徒製作の繪畫十六點がならべられてゐました。椰子の葉蔭、豐艶な果物、熱風といふやうな強烈な色彩の國土に住んでゐる子供達の生活が描かれてゐたもので、椰子の葉蔭で奇妙な舞蹈してゐる様や、土人が生首をかくと云ふ殺伐なものに至る迄、原始の香のある自由畫が澤山ありました。日本の國の幼い子達がかう云ふ様にして生活してゐる時に、又かの南洋ではこのやうにして生活してゐるといふ事は、子供自身がこの繪の前に立つ時、きつと興味を引く事とせう。日本の各地の小學校幼稚園が連合して、毎年春秋にこのやうな自由畫の展覽會を開き、南洋にも、支那にも、歐米にも、出品をすゝめて、大展覽會を催しましたら、自由畫の發達の上、又子供達の世界的親睦の爲め、さぞ愉快な事だらうと思ひました。

○第二十六回總會

本會は来る六月十八日(土曜日)午後正一時より東京女高師講堂に於て第二十六回總會を開きます。此一年間に於ける本會の致しました事業の報告をかねて、此後の諸方針について御協議申上たく存じます。當日は特に東京帝大講師文學士松村武雄先生を聘して「童話選擇の諸原則」につき御講話を願ふ筈になつて居ります。何卒多數お誘ひ合せ御來會下さることを希望いたします。餘興として、幼兒の會話唱歌がございます。

○文部省保姆講習會

本年も文部省主催のもとに保姆講習會が開かれます。時は七月二十五日より三十一日迄で詳細は追つて官報に發表になることと思ひます、講習課目は大要左の如くの由。

一、幼兒保護事業について

内務省囑託 小澤 一君

- 一、幼兒と園藝 東京女高師教諭 竹島 茂 郎君
 一、幼兒と遊戯 東京女高師教授 二階堂トクヨ君

○日本幼稚園協會夏期講習會

例年の如く、本會は文部省保姆講習會の開催の間来る七月二十五日より二十九日迄の五日間東京女高師附屬幼稚園に於て夏期講習會を開きます。本年は豫而私共の望んでおりました幼稚園唱歌について斯界に造詣深き東京音樂學校助教弘田龍太郎先生を煩はすの幸を得ました。何卒この好機會に多數御來會下さる様お勧めいたします。會員以外の方々もお誘ひ合せお出席を歓迎いたします。會費は一般には金貳圓ですが本會員に限り特に二割引のこと、御出席希望の方は本郷區湯島東京女高師附屬幼稚園内日本幼稚園協會宛に御申込み下さい。

○神戸兒童學會講演會

同會は去る五月二十一日(土曜日)午後七時半、中山手通六丁目、中宮小學校講堂に於て左の如く講演會を開催せる由。

一、米國所見 鐘紡兵庫工場長 福原 八郎君

一、歐米漫遊所感 日本動物虐待
防止會會長 廣井 達太郎君

○神戸保育會の後援事業

神戸保育會は兒童衛生展覽會を後援して、場内に有益なる出品をせしは勿論、その一割に遊戯場を設け砂場をつくり、種々の運動用具を備へ、また市内各幼稚園より日々保姆二名宛出張して管理にあたり一方、両親のつれ來られし兒童を預りて子供はよく遊ばせ、大人は觀覽に便なるよう取計ひました。これはまた幼稚園の性質を一般にしらせる上にも效が多かつたように思はます。(神戸一會員報)

○赤坂區 仲之町母の會の誕生

お茶ノ水女子高等師範の幼稚園協會が巷に出陣して『幼兒を擁護せよ!』と叫んだのは過ぐる四月下旬であつたが其の宣傳に目醒めて子供をより良くより賢くより健かに育て、行くには町の婦人がまづ結束するより外はないと云ふ銘々の心が一つになつて其の先鞭に去る二十一日午後一時半から赤坂仲ノ町小

學校の藤の若葉の清々しい雨天體操場に於て赤坂母の會が華々しく發會式を舉げた知識階級の家庭の多い赤坂區に今日まで何等婦人會が生れなかつたのが寧ろ不思議な位であつたのだ發起人である茂木女塾長の由子さんや瀬川博士令姉で醫學士夫人河島きよ子さんや市會議員夫人大庭はな子さんと逓信省技師夫人森てる子さん等十二人の夫人達は一つには子供を持つ母として二つには赤坂全體の婦人に子供を大事にする氣分を興させ度いと云ふ熱心から月々の芝居見物の金を節しても此母の會を立派に盛り立て、行かうと云ふ決心で發會までの一切の經費を銘々自腹を切つて實現せしむる事が出來たのであるこの熱心に動かされると共に時代はかうした母の會を切に要求してゐると見えて趣意書を小學校の生徒を通じて家庭に配布するや三日の中に二百名近くの入會者があつて何れも自發的に集まつて來た紅白の幔幕花飾りした會場に於て孰れも時代に眼覺めた母親の修養の途に入れる喜びを感じた中野區長や山脇房子女史の祝辭にも『子供の良惡の岐れる責任は母にある』と云ふ思想が力強く會員の胸に響いた式を終つて茶菓の饗應に移りこの會の親と云ふ可き湯原女子高等

師範學校長を迎へ湯原氏の一場の講演があつた因に同會は事務所を仲之町小學校におき二、四、六、九、十月の第一日曜に例會を開き兒童を研究をしてゆく由である。(新聞紙より)

第三回全國幼稚園關係者大會

去る五月三日より五日迄大分市に開かれし同會は非常な盛會でした。その大要は左に記します。

一、開會式

イ、開式ノ旨ヲ述ブ 大分縣保育會副會長 小原 惠 三

ロ、君ケ代

勅語奉讀

ハ、挨拶

大分縣保育會長 横尾惣三郎

ニ、祝辭

文部大臣 中橋德五郎(塚原督學官代讀)

大分縣知事 新妻駒五郎(市川内務部長同)

大分市長 三浦 數平(安藤助彼 同)

内務省囑託 生 江 孝 之

日本幼稚園協會會長湯原元一(祝電)

二、議長選舉

前例ニヨリ横尾會長就任

三、會員招待會

五月三日午後五時、大分市蓬萊公園春日俱樂部、主客共二百六十有、席ヲ分テテ階上ハ來賓及各園長、階下ハ各保姆。

挨拶

會員代表者同

四、通俗婦人講演會

五月四日午後八時

別府町西法寺

一、開會ノ辭

成蹊幼稚園長 天門 城 章

二、婦人ノ獨立ト生活ノ覺醒

大阪愛珠幼稚園長 稻 葉 ム メ

三、ドースレバ子供ガヨクナルカ

神戸神戶幼稚園長 望 月 カ ニ

四、女子教育ノ一面

京都稚園長 朝 尾 清 記

五、久留島氏ノ講演ト前田子ノ講演

五月四日

久留島武彦氏

歐洲戰亂ノ兒童ニ及ボセル影響

貴族院議員子爵 前 田 利 定 氏

親切ニ就テ

貴族院議員子爵 前 田 利 定 氏

六、地獄巡リ

大雨中ヲ各各母ハ熱心ニ見學シ行程約四里、山坂越ヘテ元氣溢レタル態度ニハ案内者モ驚キ午後六時龜川驛ニテ解散

七、會員其後ノ行動

阿蘇登山、大阪、小山、小久保、米山各保姆

鹿兒島熊本、視學、大阪三宅、上々手、岡山、折井其他十數名

耶馬溪、宇佐參拜、京都朝尾其他諸氏

保育講演會、京都若井藍水氏、龜川成蹊中津各園ニ出張

○宣言書ノ滿場一致可決

日程ヲ變更シ議事ノ劈頭ニ於テ左ノ宣言案ヲ附議セラレンコトヲ望ム

大正十年五月三日

大分縣保育會

第三回全國幼稚園關係者大會議長殿

宣言書案

家庭ノ改造モ社會國家ノ改善モ其ノ基調ガ子供ニアルコトハ最も明瞭ナル事實デアリマス

近時子供ニ關スル問題ガ漸ク識者ノ間ニ重ンゼラレ旺ニ唱ヘラレル様ニナツタノハ洵ニ喜ブベキ事柄ト思ヒマス然ルニ未ダ一般社會ノ子供ニ對スル理解ガ甚ダ不充分デアルコトハ吾々ノ頗ル遺憾トスル所デアリマス依テ本會ハ國家社會ノ立場ヨリシテ子供ノ偉大ナル價值ト存在トヲ充分明ニシ大ニ其ノ人格尊重ノ必要ヲ訴ヘル此際子供ノ爲ニ一層擁護運動ヲ盛ニシ子供ノ天地ヲ擴ムルト共ニ其ノ純ナル性能ト豐ナル天分トヲ益ク發揮セシメタイト思ヒマス敢テ茲ニ宣言スル次第デアリマス

議事其他

文部省諮問案「幼児保育」上改善スベキ事項如何ニハ左の如ク可決しました。

文部省諮問案答申案

一、幼稚園ヲ學校系統内ニ加ヘ小學校ト同様ノ取扱ヲナスコト現今ノ幼稚園ハ保姆ノ資格待遇其ノ他諸制度ノ上ニ於テ不備ノ點甚ダ多シ是レ幼稚園ガ學校系統内ニ確立セラレザルニ基因スルモノナリト認ム故ニ本案ノ貫徹ニヨリテ其改善ヲ進ムルコト易々タリト信ズルモノナリ且現今幼稚園ノ實際的研究モ大ニ進歩シ今ヤ法令ノ改正ヲ要スベキ時機ニ達シツ、アルヲ以テ速ニ本案ノ如ク改正スルヲ要ス

二、幼児ノ心身發達ノ科學的標準ヲ定メ之ニ依テ適當ナル保育ヲナスヲ要ス

現今幼児保育ノ缺陷ハ其心身發達ノ科學的標準ノ確立セラレザルニアリ吾人ハ速ニ之ガ研究ヲナシ以テ適當ナル保育ヲ行ヒ且ツ環境ヨリ受クル影響ヲ顧慮スルヲ要アリト認ム

右答申候也

大正十年五月四日

- 委員長 大島 文 治 郎
- 委員 坪 内 キ ク
- 同 岩 井 藍 水
- 同 平 井 暢 二
- 同 望 月 ク ニ
- 同 折 井 彌 留 枝
- 同 中 野 雅 夫
- 同 間 世 田 ヨ シ
- 同 高 島 ク ニ 子

第三回全國幼稚園關係者大會議長殿

○ 討 議 題

一、幼稚園保育ニ對シ其ノ標準トナルベキ要目ヲ制定セラレンコトヲ文部大臣ニ建議スルノ件(可決)

理 由

現今幼稚園ハ學校系統中重要ナル地位ヲ占ム然ルニ之ニ對スル國家ノ方針未ダ確立セザルガ故ニ幼稚園教育上支障少カラズコノ現狀ニ鑑ミ文部省ニ於テ速ニ適當ナル主義方針ヲ確立シ當務者ノ指針ヲラシムル爲ニ保育要目ヲ制定スルノ必要アリト認ム是レ本案

ヲ提出シタル所以ナリ

大阪市保育會

二、各府縣ニ保姆養成機關ヲ設ケラレンコトヲ其筋ニ建議スルコト

(可決)

理由

幼稚園教育ノ功果ヲ收ムルト否トハ主トシテ保姆其人ニアルハ論ヲ俟タズ然ルニ現時之ガ養成ヲナス機關ニ乏シクシテ補充ノ途ナキニ苦ムコト多シ加フルニ今ヤ一般ハ幼兒教育ノ必要ヲ感シ幼稚園並ニ保育所ノ益々増加セントスル秋ニ際シ保姆トシテ特ニ教養セラレタルモノヲ要セルコト切ナリ是レ本案ヲ提出シタル所以ナリ

三、幼稚園長及ビ保姆ノ待遇ヲ小學校正教員ト同等ニセラレンコトヲ其筋ニ建議スルコト

理由

保姆ノ待遇ニ關シテハ既ニ第一回第二回大會ニ於テ建議セラレタル所然ルニ未ダ其實行ヲ見ルニ至ラズ尙年功加俸ノ如キ獨リ公立幼稚園保姆ニ限ラレ市町立保姆ハ其恩典ニ浴スル能ハズ是レ本案ヲ提出シタル所以ナリ

以上二問 日本幼稚園協會

四、公立幼稚園長並ニ保姆ノ資格待遇ヲ改正セラレンコトヲ其筋ニ建議スルノ件

理由

本件ハ第一回及第二回全國幼稚園關係者大會ニ於テ決議ヲ經其筋ニ建設シタルモ其實施ヲ見ザルニヨリ更ニ之レガ改正ヲ希望スル所以ナリ而シテ其容内トシテハ市町村立小學校正教員ノ受クル年

功加俸、退職料、遺族扶助料、休職給、疾病療治料、免許狀共通等ノ特典ヲ幼稚園長保姆ニ授ケラル、樣規則ノ改正ヲ要求スルニアリ

大分縣保育會

三ト四トヲ一括シテ左ノ如ク修正可決

一、幼稚園長及ビ保姆ノ資格待遇ヲ小學校教員ト同等ニセラレンコトヲ其筋ニ建議スルコト

○協議題

一、全國幼稚園聯合會設立ノ件

理由

一、幼兒保育ノ改善發達ヲ圖ルコト

二、道廳府縣市保育會交互ノ連絡ヲ圖ルコト

三、幼稚園教育ノ權威ヲ發揚スルコト

方法

一、道廳府縣市保育會ノ贊同ヲ求ムルコト

二、三年毎ニ總會ヲ開クコト

三、毎年一回代議員會ヲ開クコト

四、本會ニ會長副會長各一名、幹事若干名、地方委員若干名ヲ置ク

五、總會、代議員會ノ事業時日場所其他重要會務ハ理事者ニ於テ

處決スルコト

六、本會ニ要スル經費ハ道廳府縣市保育會ノ負擔トス

名古屋保育會

二、全國幼稚園關係者大會ニ常設委員ヲ設クル件

理由

本會ノ目的ヲ追行センニハ全國幼稚園關係者互ニ氣脈ヲ通シ且繼

續シテ活動スルノ必要アルヲ以テ適當ナル地數ヶ所ニ常設委員ヲ設ケタシ

京都市保育會

以上、一ト二トヲ一括シテ委員附托トナリ左ノ如ク決定

全國幼稚園關係者大會規約

第一條 本會ハ全國幼稚園關係者相互ノ氣脈ヲ通シ幼兒教育ノ改善發達ヲ圖リ其ノ權威ヲ發揚スルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ全國幼稚園關係者ヲ以テ組織ス

第三條 本會ハ三年毎ニ開會スルモノトス但シ臨時ニ開會スルコトアルベシ

第四條 次會ノ開催地ハ本會ニ於テ豫定シ主催地ヨリ交渉決定スルモノトス

第五條 提出問題ハ説明ヲ附シ二ヶ月前ニ主催地ニ提出スルモノトス

第六條 本會主催地ハ同地提出問題整理ノ外左記事項ヲ取り扱フモノトス

一、本會決議事項ノ遂行ヲ期スルコト

二、次會開催迄ニ於ケル重要ナル幼稚園教育ノ時事問題ニツキ臨機處置ヲナスコト

右報告候也

大正十年五月四日

調査委員長 朝 尾 清 記

調査委員 田 伏 ト ク

中島 伊勢三郎

佐藤 壽 夫

三宅 トモ

新國 寅彦

山田 竹

金子 寅吉

和田 耕月

大隅 ヤエ子

第三回全國幼稚園關係者大會議長殿

三、土地ノ狀況ニ依リ保育上顧慮スベキ主要ナル點如何

四、幼兒用繪畫雜誌ノ色彩ノ濃厚ニ過グレバ教育上有害ナルベキヲ以テ之ヲ兒童ノ精神衛生ニ適スベク改善セシムル方法如何

以上二問 市立神戸幼稚園

五、幼兒取扱上自由法案ト指定法案トハ孰レヲ可トスベキカ

六、現下ノ幼稚園ニ刷新ヲ圖ルベキ餘地ハナキカ有トスレバ何等カノ方法ヲ以テ此機ニ於テ多數識者ノ意見ヲ纏メテハ如何

七、優良ナル童話書ノ出版ヲ促ガス手段ヲ講ジテハ如何

以上三問 門司市淺野保育所

以上各問題ニツキ會員ノ意見發表アリ

◎研究又ハ意見發表(拙稿順)

一、遊ビノ調べ 岡山市立幼稚園

二、保育上保姆ノ注意要訣 京都幼稚園長 岩井 藍水

三、幼兒ニ課スル手技參考資料ノ一トシテ經驗ノ一部發表 私立福岡幼稚園長 萩野 ひさ子

四、保育者ト藝術 大阪府女子師範學校保姆 藤本 つぎ

一(229)一

五、唱歌遊戯ニ付テ

京都市保育會

六、我園ノ運動會

大分縣私立成蹊幼稚園長

天門 成章

七、子供ニ與フル玩具ノ研究

大阪市高台幼稚園

上々手よし

八、幼兒心理應用ノ實績一二

門司市淺野保育所長

笠 間 廣

九、幼兒ニ課スベキ染模様ニ就テ

大分縣竹田幼稚園保母

田 近 とよ

一〇、幼兒ノ繪畫鑑賞能力ノ調査

大阪市大賣幼稚園

尾崎と代

一一、粘土ノ捏方

神戸幼稚園長

望 月 くに

一、家庭教育ヲ向上セシムル手段トシテノ現在幼稚園ニ於ケル施設

狀況ヲ承リタシ

大阪市保育會

以上

獨逸兒童救濟寄附取扱報告

去る三月の本誌を特に獨逸兒童のため獻じ、その節、同情を寄せらるゝ方々のため救恤金のお取次を致しましたところ、其後各地から心をこめた御寄附に接しました事は皆様とともに深く喜ぶ次第であります。此處に一先づ切ることと致しました。現在集りました金額は實に、北海道から朝鮮迄にわたつて我が國の幼兒が彼の國の饑えたるお友達に對する

同情から、或はおやつを一度儉約したり、或は紙風船を一つ買ふのを我慢したり、ある幼稚園では幼兒のつくつた風車などをお母様方に買つて頂いたりして御寄附下さつた小額の集まつたものでございませす。その他或は女學校の同窓會の席上の醜金もあり。店員が一日の煙草を我慢して出して下さつたのもあります。それ故こゝに得られた金額は眞に心のこもつた贈物であると思ひます。

累計百貳拾壹圓也

(獨貨に換算して約參千五百マーク)

寄附者氏名(次第不同)

○兵庫縣城崎小學校附屬幼稚園幼兒五十名(今井つな氏扱)○岡山市立幼稚園保母會○香川縣宇多津幼稚園幼兒八十一名保母二名、有志八名(三好政八氏扱)○佐賀縣唐津高等女學校内岸田ちえ氏、宇山朝氏、市原まち氏、千崎そで氏、河東すきえ氏、岩井ふくよ氏、宮崎さだ氏、宮崎ためよ氏、田邊さちよ氏、河村藤枝氏、辻村増子氏、前川よしの氏、谷口チエ氏、飯盛玉蕪氏、松永より氏、姉川けさ氏、小島ミサヲ氏、草場君野氏、吉田ヤエ氏、安川スエ氏、三根光子氏、宮崎政代氏、徳見のし氏、林初音氏、太田はるえ氏、中島節氏、浮須眞氏外に同校本年度卒業生八十四名(以上浮須氏扱)○兵庫縣山崎町聖旨幼稚園幼兒有志、(小林たに氏扱)静岡縣金川、岩本武平氏○朝鮮京城南山町幼稚園上山氏、森氏、志度氏、定岡氏、大村氏、香川氏、越智氏、櫻谷氏、安賀氏、高田氏、小島氏、南方氏、桂田氏、加藤氏、

尾山氏、中村氏、阿川氏、中村氏、植木氏、澤村氏、大和田氏、栗原氏（大和田氏扱）○滋賀縣日野幼稚園幼兒保姆、他に正野玄三氏、西倉捨吉氏、小川有二氏。（以上羽田氏扱）○北海道武石時子氏○奈良女高師附屬幼稚園内森川氏、三田村氏、橋本氏、瀧谷氏、會澤氏、小泉氏、古澤氏、松谷氏○横濱市、小原六郎氏、同弘子氏、菊林テイ氏、阿部氏、五十嵐太一氏、森山秋太氏、同モト氏、伊東龜久氏、松下氏、田中眞次郎氏、○正木大幹氏、三上氏、大橋小太郎氏、○某氏夫人、山本きわ氏、岡村よし子氏、脇澤たき氏、桂田竹子氏、金子榮次郎氏、高木龍子氏、早川氏、澤邊カ子子氏、輕部雅太郎氏、同ハナ子氏、數野くに子氏、栗飯原力藏氏、秋田夫人氏、吉國まつ子氏、炭籠支朗氏、某氏淺見タキ氏、岡野勇次郎氏、並木常藏氏、松村コマ子氏、足立嘉一氏、奈良智恵子氏、長内登志子氏、佐野誠一氏、寺田くら子氏、山川喜美子氏、中村秀吉氏、同ヨ子子氏、中村和賀氏、○東京市、中川謙二郎氏、細川芙蓉氏、齋藤氏、後藤氏、今井氏、吉富氏、野尻てつ氏、野口しん氏女高師附屬幼稚園有志。

以上

○大阪市立兒童相談所の街上宣傳

今宮宮津町の市立兒童相談所では十九日全市に「兒童保護」の宣傳をなすべく山口同所所長他所員一同宣傳旗を押し立てて自動車に乗つて早朝から全市を巡回し要所々々で數分間宛兒童保護救済の必要を演説した、尙同所庭園の完成と共に一般兒童にこれを開放すると（大阪毎日新聞）

○乳兒死亡の調査實施

大阪の乳兒死亡率は全國の第一位にあるため府衛生課では曩に保健調査係を設けて調査を開始したが更に今後は市内各區役所に醫員及び調査員を配置し乳兒の死亡届を受付けると同時に之を出張せしめ其家庭の状況を始め乳兒出産から死亡迄の經過を詳細に調査し之を取纏めた上最後の改善策を決定するに決し目下其準備を急いで居る

(ハ調²)

2.	5	5	5	5.	5	5.	5	6.	6	1.	6	5.	0
ト	ケ	イ	ノ	ハ	リ	ガ	も	カ	サ	ナ	ッ	テ	
あ	ち	ら	も	こ	ち	ら	も	ー	緒			に	
オ	ミ	ヤ	モ	オ	テ	ラ	モ	ー	緒			ニ	
3.	3	5.	3	2.	2	2.	1	2.	2	2.	2	2.	0
ブ	ン	ブ	ン	ブ	ン	ブ	ン	ナ	リ	ダ	シ	タ	
こ	ー	ば	で	き	て	き	ガ	ナ	リ	だ	し	た	
カ	ー	子	ト	タ	イ	コ	ガ	ナ	リ	だ	し	た	
・1.	・1.	・1.	・2.	・3.	・3.	・3.	・2.	・3.	・2.	・1.	・1.	6.	0
チ	ョ	ウ	ド	十	二	時	ウ	ウ	チ	マ	シ	タ	
ぶ	ン	ぶ	ン	ぶ	ン	ン	お	お	ひ	る	ど	き	
ゴ	・1	ゴ	ン	ド	ン	ン	オ	オ	ヒ	ル	ド	キ	
・1.	・1	・6.	・1.	・2.	・1	・6.	・5.	・5.	・5.	・5.	・5.	5.	0

三節ノ歌詞クリカヘシ

時のしらせ

兵庫縣西宮幼稚園作

一、時計の針が重なつて

ブン〜ブン〜鳴り出した

丁度十二時打ちました

二、あちらも此方も一緒に

工場で汽笛が鳴り出した、

ブー〜ブー〜お晝どき

三、お宮もお寺も一緒に

鐘と太鼓が鳴り出した

ゴ〜ドン〜おひるとき

日本幼稚園協會役員

會長 湯原 元一

主幹 倉橋 惣三

評議員 (イロハ順)

乙竹岩造 吉田熊次 田子一民 棚橋源太郎

田中ふさ 乘杉嘉壽 野口援太郎 野口幽香

安井哲 横山榮次 藤井利譽 下田次郎

澁谷徳三郎 日田權一 弘田長 菅原敬造

幹事 (イロハ順)

井村くに 坂内ミツ 星野樂 和田實

和田くら 梶原楯 土川五郎 奈良山梅

向井琴桂 野間トヨ 黒瀬艶 小向きみ

小山花 及川ふみ

責任を以て推奨する

彩色帖とクレオン

自然の衝動により微細筋を反覆練習して腦の中樞に技工の傾向を作らんとする最善の材料として研究されつゝありし彩色帖と之を彩るクレオン(筆の軸大の色鉛筆の心の固まり)は完全に出来上れり

○彩色帖の繪は最も單簡にして而も其の情趣眞に迫る

○繪柄は子供の日常經驗せる且つ最も喜ぶものを選び

○繪の數は一ヶ月四枚宛四十八圖一ヶ年分

○上等畫學紙八ツ切に印刷し彩るべき面積充分なり

○定價 彩色帖 參拾五錢、クレオン六色入 一箱 參拾錢 見本代七拾錢(金のこと)

東京 神田 今川 小路

株式會社 フレーベル館

電話 九段 一三〇七
振替 東京 一九六四〇

明治三十四年一月二十八日第三種郵便物認可(毎月一回十五日發行)

幼 兒 教 育 第二十一卷 第七號

大正十年七月十二日印刷
大正十年七月十五日發行

印刷所 合資會社 杏 林 舎